

第45回秋田県優良工事表彰 第10回秋田県優良業務表彰



令和6年9月
秋 田 県



©2015秋田県んだッチ

表紙：第45回秋田県優良工事表彰から

大曲高等学校 校舎棟建築工事

第45回秋田県優良工事表彰式 第10回秋田県優良業務表彰式

と き 令和6年9月6日(金)

午後3時30分～4時30分

ところ 秋 田 県 庁 正 庁

次 第

1. 開 式 の こ と ば
2. 式 辞 知 事
3. 来 賓 祝 辞 県 議 会 議 長
4. 表 彰 状 授 与 (工 事) 知 事
5. 表 彰 状 授 与 (業 務) 知 事
6. 受 賞 者 謝 辞 (工 事) 受 賞 者 代 表
7. 受 賞 者 謝 辞 (業 務) 受 賞 者 代 表
8. 閉 式 の こ と ば

目 次

・ お祝いの言葉・・・・・・・・・・・・・・・・	2
・ 第45回秋田県優良工事表彰工事一覧表・・・・・・・・	3
・ 表彰工事の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	5
・ 秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿・・・・・・・・	39
・ 秋田県優良工事表彰要綱・・・・・・・・・・・・・・・・	40
・ 第10回秋田県優良業務表彰業務一覧表・・・・・・・・	41
・ 表彰業務の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	42
・ 秋田県優良業務表彰選考委員会及び幹事会名簿・・・・・・・・	54
・ 秋田県優良業務表彰要綱・・・・・・・・・・・・・・・・	55



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

秋田県優良工事表彰及び秋田県優良業務表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

優良工事表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年度で45回目を迎えました。今回受賞された34件は、対象となる1,623件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理にて完成した工事であります。

また、優良業務表彰制度は、測量や調査・設計に携わる企業の技術者の確保・育成を図ることを目的に平成27年度に創設され、今年度で10回目を迎え、対象となる1,070件の業務から12件を表彰するもので、豊富な知識と優れた技術にて完了した業務であります。

建設産業は、地域の生活や産業活動を支える社会資本整備の担い手としてだけではなく、県民の安全・安心な暮らしを守る地域防災の担い手として、また、地域の経済と雇用を支える基幹産業として、大変重要な役割を果たしております。

県では、今後とも、県内建設関連企業の受注機会の確保や、建設ICT・IoTをはじめとした建設DXの加速化等による活動領域の拡大を支援するとともに、技術・技能の継承や安定的な事業運営が図られるよう、若者や女性などの建設人材の確保・育成や、建設現場における生産性向上に向けた取組を推進してまいります。

受賞された皆様におかれましては、今後とも「ふるさと秋田」の更なる発展のため、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げ、お祝いの言葉といたします。

第45回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	特別表彰	工 事 名 (路河川名)	工事箇所	受注者名	代表者名	発注公所
1		向地区 復旧治山工事 RA1101A551	鹿角郡 小坂町 小坂	小坂建設株式会社	工藤 繁夫	鹿角 地域振興局
2		田子ヶ沢線 森林資源循環利用林道整備工事 RB1204A421	北秋田市 綴子	有限会社丸栄建設	山内 勝	北秋田 地域振興局
3		防災・減災対策等強化工事 04-KG51-40	大館市 沼館	伊藤羽州・石戸谷特定建設工事共同企業体	石山 清武	北秋田 地域振興局
4	特別表彰 (10回)	大規模特定河川工事 04-KG50-20	大館市 沼館	花岡土建株式会社	鈴木 洸士	北秋田 地域振興局
5		東雲原地区 農地集積加速化基盤整備工事 07207-K01	能代市 朴瀬	田中建設・清水企業特定建設工事共同企業体	田中 洋平	山本 地域振興局
6		県単道路改築工事 05-I103-12	山本郡 藤里町 矢坂	株式会社嶋田建設	太田 治彦	山本 地域振興局
7		一向地区 防災林造成工事 RD1103A121	男鹿市 船越	株式会社清水組	清水 隆成	秋田 地域振興局
8		身の淵地区 ため池等整備(河川応対)工事 02403-K01	南秋田郡 五城目町 湯ノ又	秋田瀝青建設株式会社	斉藤 豊隆	秋田 地域振興局
9		県単河川改良工事(緊自債) 05-K239-10	南秋田郡 大潟村 方上	株式会社加藤建設	加藤 正己	秋田 地域振興局
10		地方道路交付金工事(改築) 04-HF30-10	南秋田郡 五城目町 富津内	株式会社板橋組	板橋 広光	秋田 地域振興局
11		地方道路交付金工事(改築) 03-HF22-K1	秋田市 雄和 相川	秋田舗道株式会社	青池 宏志	秋田 地域振興局
12		道路メンテナンス工事(橋梁補修) 05-FI54-10	南秋田郡 五城目町 富津内	株式会社黒澤塗装工業	黒澤 晋一	秋田 地域振興局
13		道路災害復旧工事 05-0411-10	秋田市 広面	千代田電気工業株式会社	小野地 慎一	秋田 地域振興局
14		地すべり対策工事 04-LG41-10	男鹿市 船川港船川	宮原組・沢木組特定建設工事共同企業体	宮原 竜也	秋田 地域振興局
15		県単砂防工事(地すべり) 04-L402-30	男鹿市 男鹿中中間口	株式会社コンノ土木	金野 憲行	秋田 地域振興局
16		道路メンテナンス工事(橋梁補修) 04-FI54-40	男鹿市 戸賀加茂青砂	日本機械工業株式会社	伊藤 俊永	秋田 地域振興局
17		道路メンテナンス工事(トンネル) 04-FI24-81	秋田市 中通	能代電設工業株式会社	山田 雄太	秋田 地域振興局
18		小坂戸地区 農地中間管理機構関連ほ場整備工事 01003-K04	由利本荘市 矢島町 川辺	矢島建設株式会社	土田 寛史	由利 地域振興局
19		地方道路交付金工事(改築) 04-HF61-K1	由利本荘市 鳥海町 小川	山科建設株式会社	山科 優	由利 地域振興局
20		大規模特定河川工事 04-KG40-10	由利本荘市 徳沢	菊地建設株式会社	橋本 聡	由利 地域振興局

※ 特別表彰受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない。

第45回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	特別表彰	工 事 名 (路河川名)	工事箇所	受注者名	代表者名	発注公所
21		杉沢柳沢地区 農地集積加速化基盤整備工事 10302-K07	大仙市 土川	株式会社宮原組	宮原 竜也	仙北 地域振興局
22		太田南部地区 農地集積加速化基盤整備工事 09903-K21	大仙市 太田町 三本扇	はりま建設株式会社	播間 泰	仙北 地域振興局
23		桁沢地区 予防治山工事 RF1114A051	仙北市 西木町 上松木内	株式会社鈴建興業	鈴木 一義	仙北 地域振興局
24		広域河川改修工事 04-KA20-10	大仙市 協和 中淀川	株式会社協和土建	茂木 義行	仙北 地域振興局
25	特別表彰 (5回)	道路メンテナンス工事(橋梁補修) 05-FI56-51	大仙市 太田町 三本扇	株式会社佐藤建設	佐藤 吉博	仙北 地域振興局
26		火山砂防工事 04-SC10-10	仙北市 田沢湖 田沢	佐藤建設株式会社	田村 保	仙北 地域振興局
27		蛭野・角間川堰地区 かんがい排水工事 00406-K01	横手市 大雄	株式会社吉田建設	吉田 昌平	平鹿 地域振興局
28		広域河川改修工事 04-KA15-10	横手市 朝倉町	創和建設株式会社	小原 朗	平鹿 地域振興局
29		堂ヶ沢地区 中山間地域農業活性化緊急基盤整備 工事 02503-K02	湯沢市 山田	株式会社鈴木建設工業	鈴木 新一	雄勝 地域振興局
30	特別表彰 (5回)	交通安全対策工事(通学路緊急対策) 04-FI85-20	雄勝郡 羽後町 新町	株式会社小野建設	小野 雅敏	雄勝 地域振興局
31		秋田湾産業新拠点[A-BIZ] 道路改良工事 04-IJM10-20	秋田市 飯島	古城建設株式会社	高山 彰	産業集積課
32		秋田空港滑走路改良工事 04-QA12-K2	秋田市 雄和 樺川	菅与組・アキケン特定建 設工事共同企業体	菅原 孝次郎	港湾空港課
33		大森ふ頭用地造成工事 04-Z801-40	能代市 大森	伊藤栄・高橋秋和特定建 設工事共同企業体	伊藤 栄典	港湾空港課
34		大曲高等学校 校舎棟建築工事	大仙市 大曲 栄町	荒屋鋪・丸茂・興栄・さとう 特定建設工事共同企業 体	今野 春夫	教育庁総務課 施設整備室

※ 特別表彰受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない。

1 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	向地区 復旧治山工事 RA1101A551		
路河川名/地区名	向地区	施工地名	鹿角郡小坂町小坂
商号又は名称	小坂建設株式会社		許可番号 05-000105
請 負 額	51,423,900 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 工藤 繁夫		
監理技術者等	現場代理人 石坂 作男		
監督実施公所	鹿角地域振興局（農林部）		
主任監督員	岩谷 司	監 督 員	小塚 大幸
工 期	令和 5年 6月 9日～ 令和 6年 3月22日	完成年月日	令和 6年 3月22日
概 要	1)No. 5コンクリート谷止工 (L=26. 5m H=5. 5m b=1. 5m V=264. 3m3) 2)No. 6コンクリート床固工 (L=16. 0m H=4. 0m b=1. 5m V=105. 9m3) 3)No. 7コンクリート床固工 (L=17. 0m H=4. 5m b=1. 5m V=119. 4m3)		
特 徴	1)急峻かつ狭隘な箇所での施工 2)木製残置型枠を使用したコンクリート治山ダム3基の施工		
写 真			
NO.6 床固工(着手前)		NO.6 床固工(完成後)	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当該施工地は、急峻かつ狭隘な地形であることに加え、流域が広く排水対策への配慮が必要な厳しい現場条件であったが、工期限内に完成をさせた。
- ・出来形管理において、県の規格値よりも厳しい社内目標値を設定し、厳密な管理をすることで企業の技術水準の向上に努めたほか、打設時期に応じて暑中・寒中コンクリートとして温度管理を適切に行うなど、品質管理にも優れていた。また、写真管理を含め工事関係資料も全般的に適正かつ明瞭に整理されていた。
- ・着工時に地域住民向けのチラシを作成配布するとともに、集落内での工事車両の通行に細心の注意を払ったことにより苦情や事故が無かった。

◆施工業者からのPR

- ・施工箇所が沢の本流であり、降雨時の急激な増水による作業への影響が懸念されたことから作業ヤードの下に排水管φ600～800を設置するとともに取水設備を設置し排水対策を行った。
- ・既設道から作業箇所までの資材搬入路の設置に際して、現地地形の改変をできるだけ抑えるため、切土及び盛土を最小限とするルートを検討し決定した。
- ・丁張設置に当たっては、自動追尾型トータルステーション(TS)を活用しワンマン測量としたため、人員の省力化と測量作業時間を大幅に削減することができた。
- ・大館桂桜高校から生徒3名のインターンシップを受入れし、工事の説明や測量等の実務体験を行い建設業への関心を深めた。

2 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	田子ヶ沢線 森林資源循環利用林道整備工事 RB1204A421		
路河川名/地区名	田子ヶ沢線	施工地名	北秋田市綴子
商号又は名称	有限会社丸栄建設		許可番号 05-003455
請 負 額	65,987,900 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 山内 勝		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 浩		
監督実施公所	北秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	千葉 智	監 督 員	小笠原 寿
工 期	令和 5年 3月31日～ 令和 6年 3月22日	完成年月日	令和 6年 3月19日
概 要	1) 林業専用道開設 L=434.8（204.6）m W=3.6m		
特 徴	1) ルート変更対応を必要とする工事 2) 『綴子セリ』栽培への配慮を必要とする工事		
写 真			
完成 起点部 		完成 NO.24付近 	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事の田子ヶ沢線沿いには、田子ヶ沢集落の『綴子のセリ』栽培に必要な取水施設があり、安定した水量を確保するため、地元の栽培農家と調整を取りながら施工する必要があった。
- ・軟弱な路体箇所には岩ズリを使用し大型クレーン車の走行を可能とさせ、セリの取水施設には敷鉄板で養生を行い断水しないよう配慮して施工された。
- ・工事期間中は、大雨により近接する河川が増水したが、大型土のうによる護岸保護やルート変更などにも迅速に対応された。

◆施工業者からのPR

- ・開設路線に並走する綴子川の護岸ブロックが一部崩壊していたため、大型土のうで護岸を保護し、併せてルート変更を行った。7月の大雨により河川が増水したが、早急に対処した。
- ・切土が完了した区間において、山側が集水ポイントとなり法面崩落が発生した。用地幅に制約があったため、蛇籠による法面保護と暗渠管による排水処理を提案し施工した。
- ・素掘水路の区間において、降雨のたびに盛土法面が崩壊したため、二次製品による施工を提案し、路体保護を図った。

3 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	防災・減災対策等強化工事 04-KG51-40		
路河川名/地区名	下内川	施工地名	大館市沼館
商号又は名称	伊藤羽州・石戸谷特定建設工事共同企業体		
請 負 額	249,935,400 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社伊藤羽州建設 代表取締役 石山 清武		
許可番号	04-020143	監理技術者等	監理技術者 田村 幸治
(構 成 員)	株式会社石戸谷建設 代表取締役 石戸谷 伸		
(許可番号)	01-001006	(監理技術者等)	主任技術者 松田 正美
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	小塚 貴紀	監 督 員	兎澤 成
工 期	令和 5年 2月 3日～ 令和 6年 3月22日	完成年月日	令和 6年 3月22日
概 要	1) 施工延長 L=701.9m 2) 掘削工 $\Sigma V=15990m^3$ 盛土工 $\Sigma V=5330m^3$ 3) コンクリートブロック工（平ブロック張） A=5214m ³		
特 徴	1) 河道及び堤防法線・法勾配が変化する区間の護岸工事 2) 他工区との工程調整を要する施工工区 3) 搬入路が農道1路線のみの交通が著しく規制される工区		
写 真			
着工前(N㉙61からN㉙69方向)		完成(N㉙61からN㉙69方向)	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、令和4年8月の豪雨出水により破堤した下内川(沼館地区)の浸水対策を目的とした工事であり、地域住民から早期の復旧を渴望されていた工区である。
- ・増水による作業の中止・仮締切への浸水による現場復旧対応等、工程に影響を及ぼす事象が発生し、工程管理が課題となる中、作業の効率化に積極的に取り組んだことにより、施工日数の短縮を図り、工期内に工事を完了した。
- ・本事業の受注者で構成する安全協議会を設立し、他工区受注者との連携、地元と調整する等、事業推進に係る貢献度は非常に高かったと考えている。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は、同時に発注された4工区の工事のうち沼館地内の下内川上流右岸部の工事であり、保全対象保護を優先的に進めることや農道移設時期などの制約が多い工事であったが、工期内に終了することができた。
- ・河床拡幅に伴う農道移設に関して、耕作者と協議し定期的な農道補修や横断暗渠の復旧による地域貢献を行ったことで苦情等無く工事を完了することができた。
- ・安全管理では夏場の熱中症対策や、冬場の凍結によるスリップ防止対策を適切に行ったことにより、最後まで事故を発生させることなく、工事を無事に終えることができた。

4 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	大規模特定河川工事 04-KG50-20		
路河川名/地区名	下内川	施工地名	大館市沼館
商号又は名称	花岡土建株式会社	許可番号	05-002129
請 負 額	92,508,900 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 鈴木 泚士		
監理技術者等	現場代理人 今川 徳正		
監督実施公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	小塚 貴紀	監 督 員	田澤 はるか
工 期	令和 5年 4月14日～ 令和 6年 1月12日	完成年月日	令和 5年12月26日
概 要	1)擁壁護岸工(左岸側) L=45.2m(上流側L=23.77m,下流側L=21.43m) 2)取水工(右岸側)L=10.92m、法覆護岸工(左岸側) A=330m ² 3)仮設工 N=1式		
特 徴	1)擁壁護岸工、取水工、法覆護岸工の施工箇所が点在する工事 2)同時期施工となる関連工事との工程調整 3)厳しい気象条件の中での作業		
写 真			
【完成(上空)】		【完成(逆T擁壁)】	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・農業用水の取水時期による制約や関連工事との工程調整など、高度な工程管理が求められる工事であったが、仮設計画の立案や作業工程の工夫、新技術の活用等により、遅れることなく工期内に工事を完成させた。
- ・河川内における出水期中の施工であり、降雨等の気象状況に大きな影響を受ける工事であったが、水位上昇に対応した適切な仮設計画などが評価できる。
- ・真夏のコンクリート打設において、厳密な品質管理を行ったことにより、有害なクラックは発生しておらず、十分な品質が確保されている。
- ・関連工事と施工範囲が近接しており、現場内で重機が錯綜する状況であったが、事故防止のための、安全管理の取組を積極的に実施しており評価できる。

◆施工業者からのPR

- ・当工事では工程管理において大きな課題があった。
 - ①農業用水の取水により、施工範囲の制約があるうえ、常に水位が高い状況での施工であった。
 - ②次期工事の河川切廻しを行う施工者へ現場を引き継ぐ時期が決まっていた。
 - ③可動式ゲート設置工事において、施工ヤードの一部を使用したため、当工事で約3ヶ月間使用できない期間があった。
- こうした課題に対し、作業工程の工夫や仮設計画の立案、新技術の活用により、適切な工程管理を行い、遅れることなく工事を完成することができた。
- ・コンクリートの施工時期が真夏であったが、対策を講じ適正な品質を確保することができた。

5 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	東雲原地区 農地集積加速化基盤整備工事 07207-K01		
路河川名/地区名	東雲原地区	施工地名	能代市朴瀬
商号又は名称	田中建設・清水企業特定建設工事共同企業体		
請 負 額	218,735,000 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	田中建設株式会社 代表取締役 田中 洋平		
許可番号	05-009358	監理技術者等	現場代理人 渡邊 誠喜
(構 成 員)	株式会社清水企業 代表取締役 清水 靖		
(許可番号)	05-007981	(監理技術者等)	監理技術者 塚本 俊則
監督実施公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	長谷川 龍彦	監 督 員	齊藤 星貴
工 期	令和 4年 9月 1日～ 令和 5年 5月31日	完成年月日	令和 5年 5月31日
概 要	1) 取水施設工 N=1式 樋門工 N=1門・函渠工 L=52m・護岸工 A=549m2		
特 徴	1) 一級河川米代川（国直轄管理区間）を仮締切とする取水施設工事 2) 寒冷期に打設するコンクリートの品質管理		
写 真			
樋門工本体完成		完 成	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、一級河川米代川(国直轄管理区間)を仮締切とする取水施設工事であり、河川区域内は、3月末までに工事の完成が求められ、綿密な工程管理と的確な仮設計画で、樋門工と函渠工を同時施工とすることにより、河川区域内の工事を3月末までに完成させた。
- ・米代川河口からの強風によるクレーンの転倒災害を防止するため、クレーンの足場を砕石と敷鉄板により堅固とし、吹き流し、作業中止基準表示板を設置する等、安全管理を徹底した。
- ・寒冷期のコンクリート打設では、バイブレーターへのマーキング、コンクリート打継目処理剤の使用、鉄筋の防錆処理、養生温度をデータロガーにより管理する等、品質向上に努めた。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は、米代川に農業用水の取水施設を築造する工事であり、河川区域内の工事は3月末までに完成することが求められ、樋門工と函渠工の同時施工を計画し、入念な工程管理により、多くの労務、機械を投入し、工期までに完成させることができた。
- ・仮締切の鋼矢板打込み引抜きでは、200tクローラクレーンの転倒災害が予想されたため、足場を砕石と敷鉄板で堅固にし、作業半径を出来るだけ小さくするよう、クレーン、資材の配置を工夫しながら作業を行った。
- ・コンクリート打設では、バイブレーターのマーキングを目安に丁寧に締固めを行い、養生時はデータロガーを設置し温度管理をする等、品質を確保した。

6 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単道路改築工事 05-1103-12		
路河川名/地区名	西目屋二ツ井線	施工地名	山本郡藤里町矢坂
商号又は名称	株式会社嶋田建設		許可番号 05-009121
請 負 額	28,085,200 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 太田 治彦		
監理技術者等	現場代理人 工藤 大輔		
監督実施公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	木場 俊明	監 督 員	早川 寛
工 期	令和 5年10月20日～ 令和 6年 3月21日	完成年月日	令和 6年 3月21日
概 要	1) 施工延長 L=372.9m 2) 道路土工 N=1式 3) 排水構造物工 N=1式 4) 下層路盤工 A=449m2 5) 上層路盤工 A=382m2 6) 表層工 A=1,690m2		
特 徴	1) 現道道路の拡幅工事 2) 拡幅工事に伴う盛土、排水構造物工事 3) 拡幅工事に伴う舗装工事		
写 真			
 			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は現道拡幅工事であり、延長のある区間で片側交互通行しながら工事を進める必要があった。これに対し、特殊な材料を用いて工期短縮を図ったり、規制延長を短くして交通誘導員を増員したりするなど、安全性への配慮が随所で見られた。
- ・過去の工事では現道部と拡幅部の境界にアスファルトのクラックが生じた箇所があったが、本工事では土工の転圧を入念に行ったほか、漏水処理やアスファルトの品質向上に努めていることから、クラック等の変状は発生していない。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は現道片側舗装幅員W=3.25mからW=4.25mへのW=1.0mを拡幅する工事であった。
- ・現道を横断しているヒューム管からの漏水により排水構造物工及び路床盛土に影響する恐れがあったため、水抜きパイプを設置し漏水処理を行った。
- ・現道と拡幅面との接着を良くするため、既設面の清掃を入念に行い乳剤の付着を良くした。又、従来のタックコートより養生時間を大幅に短縮でき、層間接着の確実性が増しあらゆる箇所で高接着が得られるスーパータックゾールを使用し、早期交通開放に努めた。
- ・当該工事区間は交通量が多い為、規制延長を長くすると渋滞が生じてしまう事から、規制区間を出来るだけ短くし、交通誘導員を増員することで安全に作業をした。

7 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	一向地区 防災林造成工事 RD1103A121		
路河川名/地区名	一向地区	施工地名	男鹿市船越
商号又は名称	株式会社清水組		許可番号 00-011421
請 負 額	55,222,200 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 清水 隆成		
監理技術者等	現場代理人 田村 唯		
監督実施公所	秋田地域振興局 (農林部)		
主任監督員	武石 直久	監 督 員	小森 克樹
工 期	令和 5年 6月 6日～ 令和 6年 3月15日	完成年月日	令和 6年 2月 5日
概 要	1) 掘削工 11,256m3 2) 畝部盛土工 8,283m3 3) 植栽部盛土工 8,848m3 4) 覆砂工 1,084.1m2		
特 徴	1) 受注者希望による県内初のICT施工(治山・林道事業) 2) 厳しい現場条件と複雑な盛土工を要する工事		
写 真			
			
ICT建機による法面整形 盛土工 畝部施工状況 盛土工 完成			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 治山・林道事業では、受注者希望による県内初めてのICT施工を実施した箇所であり、丁張作業の省略や実働作業時間の大幅な短縮により、完全週休2日制の達成及び工期前に工事を完成させた。また、女性技術者を登用し、女性ならではのきめ細やかな指示や突発的な事項への対処などスムーズに対応していた。
- ・ 防災林造成工事では松枯れや塩害等により防災林の機能を果たしていない立木を伐採する作業があったが、地権者とのトラブルもなく円滑に進めていた。
- ・ 複雑な盛土の施工で現場条件も厳しい箇所であったが、技術者の工夫により施工品質の向上に努め、高品質の構築物を完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・ 受注者希望によるICT施工により丁張作業の省略と実働作業時間の大幅な短縮を達成できた。これにより完全週休二日制の達成、および工期前に工事完成することができた。
- ・ ICT施工による重機の精度確認を毎日始業前に行うことにより施工品質の向上に努め、その結果、規格値の50%以内に納めることができ高品質な構築物を作ることが出来た。
- ・ 写真管理には電子小黒板を活用し、写真データを共有(クラウド化)することにより、現場事務所での写真整理作業を短縮することができた。
- ・ 撮影した写真は出来形・品質管理図表に連動し、これまでのように個別に作成する必要がなくなり『働き方改革』の一環として労働時間を短縮することができた。

8 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	身の淵地区 ため池等整備（河川対応）工事 02403-K01		
路河川名/地区名	身の淵地区	施工地名	南秋田郡五城目町湯ノ又
商号又は名称	秋田瀝青建設株式会社		許可番号 05-001353
請 負 額	143,426,800 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 斉藤 豊隆		
監理技術者等	現場代理人 鎌田 孝紀		
監督実施公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	橋本 崇	監 督 員	宮田 浩一
工 期	令和 4年 9月30日～ 令和 5年 6月 2日	完成年月日	令和 5年 6月 2日
概 要	1) 頭首工改修工 N=1式 2) 護岸護床工 N=1式 3) 仮設工 N=1式		
特 徴	1) 降雨時における仮設切回し河川の対応を要する工事 2) 営農時期に合わせた工程管理を必須とする工事		
写 真			
 着手前  施工中 (護岸工・護床工完了)  完 成			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・河川工事では突発的な事柄で工程が大きく遅延する場合があります、それらの不確定な要素に対して使用する資機材、工法等の工夫により可能な限り工程を短縮する取組がされている。
- ・養生方式を工夫するなど、コンクリートの品質向上に向けた取組が顕著であった。
- ・地域住民との関係性が終始良好であり、工事期間中の苦情やトラブルは発生していない。
- ・現場施工条件も厳しく複雑な構造物の築造であったものの、施設の目的である農業用水の取水が必要な時期までに施設を完成させている。
- ・当該施工施設は工事完了後のR5年7月豪雨による冠水被害を受けたものの、施設の崩落、決壊、流出等の被害は確認されておらず、事業目的である施設の強靱化が図られている。

◆施工業者からのPR

- ・降雨による河川の増水、水流による仮設材の流出、洗掘の対応として、現場発生材等の根固材の投入や状況に応じた鋼矢板の打設など、現場条件の改善を図った。
- ・工事を円滑に進めるため、近隣集落への「工事だより」の配布や現地での工事説明、周辺地域の被災箇所の復旧対応など、地元住民との良好な関係構築に務めた。
- ・プレキャスト製品の使用や突発的な作業発生時の対応など、全体工程への遅延を最小化できるような資機材を手配し、工期短縮を図った。
- ・冬期間のコンクリート打設作業が主体の工事であり、初期凍害への対応として養生にはダクト型ジェットヒーターを使用し、広範囲で均一な熱の供給でコンクリートの品質確保を図った。

9 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単河川改良工事（緊急償） 05-K239-10		
路河川名/地区名	馬場目川（正面干拓堤防）	施工地名	南秋田郡大潟村方上
商号又は名称	株式会社加藤建設		許可番号 05-002392
請 負 額	44,844,800 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 加藤 正己		
監理技術者等	現場代理人 佐伯 美空		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	鈴木 友樹	監 督 員	木村 文音
工 期	令和 5年 7月 7日～ 令和 6年 2月21日	完成年月日	令和 5年12月22日
概 要	1) 施工延長 L=100.0m 2) 路体（築堤）盛土 V=4100m3 3) 組立式角型マンホール N=1基		
特 徴	1) I C T土工を活用した法面整形の施工 2) I C T技術を用いた出来型・品質管理 3) 建設業のイメージアップをはかりながら地域に密着した取り組み		
写 真			
着手前		完成時	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・当初簡易型ICTモデル活用工事としていたが、受注者から更なる施工管理の省力化及び若手技術者の意欲増進のためICT工事としたいと協議がありICT活用工事とした。
- ・盛土及び法面整形において全てICT建設機械を使用することにより丁張等測量作業の省力化を図るほか、転圧回数や転圧箇所をPC上で管理することにより効率的な品質管理を行うことができた。
- ・周辺の除草・大雨災害時の流木の撤去等周辺環境への配慮も行い若手技術者を積極的に登用するなど建設業へのイメージアップをはかっていた。

◆施工業者からのPR

- ・ICTを積極的に活用して作業効率化、管理の省力化を図った。これらの活用により、完全週休2日の休日が確保され、又、工期的にも降雪前の10月に土工事を完了することができ、12月中の完成引渡が出来た。
- ・河川管理用道路の草木が生い茂っており、通行の幅が狭く運搬車両に支障が出るだけでなく農耕車との接触事故が懸念された。その為、重機にて草刈り作業を実施し道路の幅員確保や1km毎に大型ダンプの待避所を設ける対策を行ったことで無事故で終わることが出来た。
- ・盛土の各層表面に4%の横断勾配を設け、3次元設計データを作成しブルドーザによる敷均し管理を行った。横断勾配を設けることにより、排水が良好に行われ降雨でも転圧作業が可能になり盛土の品質確保が出来た。

10 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事(改築) 04-HF30-10		
路河川名/地区名	国道285号	施工地名	南秋田郡五城目町富津内
商号又は名称	株式会社板橋組		許可番号 05-001354
請 負 額	83,551,600 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 板橋 広光		
監理技術者等	現場代理人 相沢 琉成		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	堀井 克則	監 督 員	藤谷 和平
工 期	令和 5年 4月 3日～ 令和 5年12月 1日	完成年月日	令和 5年12月 1日
概 要	1) 施工延長 L=737.8m 2) 路体盛土工 V=7,500m ³ 、路床盛土工 V=2,100m ³ 3) 下層路盤工 A=1,650m ²		
特 徴	1) ICT活用モデル工事 2) 農繁期と施工時期が重なる工事 3) 隣接工区との調整を図る工事		
写 真			
完成 起点～終点		完成 終点～起点	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は国道285号「富津内バイパス」の盛土工事である。
- ・当該現場の周辺は田んぼに囲まれており、施工時期が田植えや稲刈りの時期と重なっていたが、耕作者と密に調整を図り、工事車両と農業車両が錯綜することがなく、安全を確保した。
- ・施工管理においては盛土工及び法面整形工で積極的にICT建機を活用し、週休2日を確保しながら良好な品質・出来形管理を実施した。
- ・本事業の受注者で構成する「工事安全協議会」を設立し、他受注者との調整、地元要望にも真摯に寄り添い、騒音・振動等の苦情や事故もなく無事に工事を完成させた。
- ・工業高校生向けのインターンシップや工事PR看板設置など、建設業の魅力を発信した。

◆施工業者からのPR

- ・当現場は周辺に田畑があり、耕作者が現場内を通行することがあったが、耕作者と密に連絡を取り、工事車両出入りの際の安全確保や工程の調整を行った。
- ・盛土工及び法面整形工において、ICT建機を活用して、出来形管理の簡素化、工程遅延の防止、品質管理の向上を図った。
- ・安全協議会を設立し、他受注者との工程調整やダンプトラックの運搬経路などを調整し、円滑に工事を完了した。
- ・工業高校生向けのインターンシップを積極的に受け入れ、担い手確保に貢献した。またバイパス工事のPR看板を設置し、工事全体のイメージアップを図った。

1 1 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 03-HF22-K1		
路河川名/地区名	秋田雄和本荘線	施工地名	秋田市雄和相川
商号又は名称	秋田舗道株式会社		許可番号 05-001796
請 負 額	167,810,500 円	工 種 ・ 格 付	舗装 A級
代 表 者	代表取締役社長 青池 宏志		
監理技術者等	現場代理人 齋藤 泰徳		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	堀井 克則	監 督 員	神田 誠
工 期	令和 4年 4月22日～ 令和 5年 5月31日	完成年月日	令和 5年 5月25日
概 要	1) 施工延長 L=616.6m 2) アスファルト舗装工（車道） A=7,355m ² 3) アスファルト舗装工（歩道） A=1,180m ²		
特 徴	1) 秋田雄和本荘線相川工区の最終工事 2) 水沢橋架け替えに伴う工事で関連工事が多数混在する現場条件 3) 供用中の主要道路を交差し新設道路を構築する現場条件		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 近接する複数の工事と調整を図りながらバイパス供用に向けて舗装工事を完成させる難易度の高い工事であった。
- ・ 開通式を控えている中での限られた工期だったが、フォローアップを行うなど工程管理に努め、4週8休以上の休日確保を達成した。
- ・ 関連工事業者や発注者と密に連絡を取り合うなど、積極的に情報交換する姿勢が見られた。
- ・ ICT施工により施工効率を高めた上、出来形管理、品質管理にも優れていた。
- ・ 現場条件に合わせた基礎構造の変更を提案するなど、的確な判断が行われた。
- ・ 高校生を対象とした現場説明会を計4回開催し、建設業のイメージアップに貢献した。
- ・ 清掃活動を実施するなど積極的な地域貢献を行った。

◆施工業者からのPR

- ・ 本工事は、水沢橋架け替えに伴う複数のライフライン整備工事など、狭い施工環境に様々な関連工事業者が混在する中で新設道路を構築する難易度の高い施工現場であった。
- ・ 本工事の施工区間は新設橋を挟んで両岸に分割されていたほか、施工時期にも制約があったため、各工種を一度に完了できるものが少なく、工程に余裕がないことが予想された。そのため、ICT技術などを積極的に導入し、施工効率を向上させることで工程の短縮に努めた。
- ・ 令和5年3月19日の相川工区（水沢橋）開通に伴い、関連施工業者と【相川工区安全協議会】を設立し、安全祈願祭の開催や記念品の製作、開通式や現地セレモニーの現場設営等、工事以外にも様々な業務に携わり、秋田雄和本荘線相川工区を無事に開通させることができた。

12 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	道路メンテナンス工事(橋梁補修) 05-F154-10		
路河川名/地区名	国道285号	施工地名	南秋田郡五城目町富津内(苦多羅沢橋)
商号又は名称	株式会社黒澤塗装工業	許可番号	05-007615
請 負 額	155,344,200 円	工 種 ・ 格 付	一般塗装 A級
代 表 者	代表取締役 黒澤 晋一		
監理技術者等	現場代理人 嵯峨 清		
監督実施公所	秋田地域振興局(建設部)		
主任監督員	堀井 克則	監 督 員	飯田 嘉洋
工 期	令和 5年 9月29日～ 令和 6年 3月29日	完成年月日	令和 6年 3月29日
概 要	1) 橋長L=65.0m 幅員W=8.5(12.0)m 2) 橋梁塗装工 A=2,430m2 3) 排水施設工 L=58m		
特 徴	1) 冬期間における橋梁塗装塗替工事 2) 交通量の多い幹線道路上における片側通行規制 3) 上路式トラス橋での吊り足場の工夫		
写 真			
			
完成 (A1～A2)			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ 山間部における真冬の鋼橋塗装塗替工事で、ヒーターを複数台設置し終日稼働させたことで、足場内温度5℃以上を確保し、品質及び適切な工程管理に寄与した。
- ・ 交通量5,000台/日以上が通行する国道285号上において、昼間片側交互通行による通行規制を行いながらの工事で、大型車も多数通行する中で事故なく工事を完成させた。
- ・ 複雑なトラス構造の橋梁であり、クイックデッキ吊足場の採用による安全性の向上及び中段足場をくさび式足場とし作業環境の改善にも繋がった。

◆施工業者からのPR

- ・ 下トラス構造の対応としてクイックデッキ足場を選定することで、中段足場をくさび式にすることができ、複雑な下トラス構造にも対応することができた。また、吊チェーンの数量を少なくできたことにより作業環境の改善にも繋がった。
- ・ 国道285号の昼間片側交互通行規制を行うにあたり、1km手前にソーラー式LED電光盤を設置したほか、カーブ付近には交通誘導警備員を配置して減速を促し、事故無く終了することができた。また、積雪地でのAIシステム稼働試験を行い、積雪地でもAIシステムが使用可能なことを確認することができた。
- ・ Rc-I 塗装系(5工程)を3工程に出来る工法タイエンダーシステムを提案し使用したことにより工期短縮に繋がった。

13 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	道路災害復旧工事 05-0411-10		
路河川名/地区名	秋田昭和線	施工地名	秋田市広面(広面ジョイパス)
商号又は名称	千代田電気工業株式会社	許可番号	05-001951
請 負 額	114,620,000 円	工 種 ・ 格 付	電 気 A級
代 表 者	代表取締役 小野地 慎一		
監理技術者等	現場代理人 猿田 光太郎		
監督実施公所	秋田地域振興局(建設部)		
主任監督員	三浦 博満	監 督 員	三浦 学
工 期	令和 5年11月30日～ 令和 6年 3月22日	完成年月日	令和 6年 3月22日
概 要	1)照明設備 1式 2)CCTV設備 1式 3)排水ポンプ設備 1式		
特 徴	1)令和5年7月豪雨にて冠水被害を受けた災害復旧工事 2)交通量の多い城東十字路に位置し、近隣に学校や商業施設が多く地下道利用者が多数の施設		
写 真			
			
完成(LPT-1制御盤,M1M2ポンプ制御盤)		完成(非常用発電機)	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は令和5年7月豪雨により被災した横断地下道の災害復旧工事である。
- ・同施設周辺には、学校や商業施設があり、利用者も多いことから早急の復旧が望まれる施設であったため、被災状況の把握と機器調達を迅速に行い、年度内に完成する事ができた。
- ・利用者の多い施設であることから、工事期間中の安全対策を実施することにより、交通ルートの確保を行ったことから社会性も大きい。
- ・施工業者は監督員と連絡調整を密に行い、再度災害防止の観点から、機器の設置位置なども自主的に提案し実施。今後、同様の被害が発生した場合でも被害軽減、復旧期間の短縮が見込まれる。

◆施工業者からのPR

- ・令和5年7月豪雨にて秋田市全域が被災し、広面ジョイパスも冠水被害を受け早期復旧が必要だった。当社の災害復旧工事は地域の安全と安心を確保する為、迅速かつ効果的な対応を目指し早期復旧に全力を尽くしており、被災調査の即実施と安全性・信頼性を最優先に考えた担当者との密な連絡によって復旧方法の原案を作成した。
- ・冠水水位を把握しての対策が必須であり、今後の同様な災害を想定し制御盤・重要機器が浸水を免れるよう基礎の嵩上げや架台の高さを上げ、被災被害の軽減を図った。
- ・被災後排水ポンプ設備は南北1台ずつ仮設運用していたが、急激な増水には対応が不可能だったが、監督員及び制御盤製造メーカーと迅速な連携をとり年内本設復旧を完遂させた。

1 4 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地すべり対策工事 04-LG41-10		
路河川名/地区名	泉台地区	施工地名	男鹿市船川港船川
商号又は名称	宮原組・沢木組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	57,322,100 円	工種・格付	法面 A級
代 表 者	株式会社宮原組 代表取締役 宮原 竜也		
許可番号	05-010808	監理技術者等	現場代理人 小西 満
(構 成 員)	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
(許可番号)	05-005082	(監理技術者等)	主任技術者 金沢 靖之
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	加藤 忍	監 督 員	沼田 拓務
工 期	令和 4年10月28日～ 令和 5年 4月28日	完成年月日	令和 5年 4月24日
概 要	1)鉄筋挿入工（N=339本）L=1,468m 2)受圧板設置工 N=339枚		
特 徴	1)鉄筋挿入工を施工し法面の安定化を図る工事 2)同時期施工となる隣接工区と調整を要する施工区間 3)住宅密集地での作業		
写 真			
完成(鉄筋挿入工)		完成(かご工)	
			

◆監督実施公所の推薦理由

・施工箇所付近には、住宅地の他、男鹿市指定緊急避難路である市道が近接しており、大雨や地震による地すべりが発生すると斜面下部の施設に被害が及ぶ恐れがあり、早急な斜面对策を実施する必要があったが、隣接工区との綿密な調整を行うなど、施工の効率化に努めた。また、住宅密集地での施工であり、騒音や振動へ配慮しながらの丁寧な施工が求められた中で工期内に完成させたことは評価できる。

・冬期間の施工ではあったが、地中温度を観測するなど適切な温度管理を実施し、グラウト注入材の品質を向上させた。

◆施工業者からのPR

・現場は住宅密集地に位置しており、隣接工区と調整し、近隣住民への影響を最小限にするため騒音を発生する作業の重複を避けた工程の調整を行い、鉄筋挿入工の削孔時は騒音・振動を日々測定しながら丁寧な施工を心がけた。

・鉄筋挿入工のグラウト注入は2月に施工しており、凍結を防止するため地中温度の調査を実施し、グラウト材の温度を管理しながら注入工を行った他、かご工では独自に地耐力試験を行い安定性を確認するなど、細部に配慮した施工を行った。また、法面全体に凹凸が目立ったため、植生土のうで法面を平坦に仕上げるにより、出来映えの良い現場とすることができた。

15 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	県単砂防工事(地すべり) 04-L402-30		
路河川名/地区名	中間口地区	施工地名	男鹿市男鹿中中間口
商号又は名称	株式会社コンノ土木		許可番号 00-009694
請 負 額	39,546,100 円	工種・格付	法面 A級
代 表 者	代表取締役 金野 憲行		
監理技術者等	現場代理人 三浦 貴弘		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	加藤 忍	監 督 員	山谷 拓也
工 期	令和 5年 7月14日～ 令和 6年 1月26日	完成年月日	令和 6年 1月26日
概 要	1)吹付枠 A=120m2 2)鉄筋挿入工 N=147本 3)受圧板設置工 N=104枚 4)簡易削孔工 L=140m 5)植生基材吹付工 A=405m2		
特 徴	1)土砂災害の防止を目的とした地すべり対策工の整備 2)厳しい現場条件での施工 3)工期短縮の為の工法提案		
写 真			
着工前		完 成	
			

◆監督実施公所の推薦理由

・本工事は、地すべりにおける土砂災害の防止を目的として吹付法枠工、鉄筋挿入工の整備を行うものである。 ・令和5年7月豪雨による新たな地すべり変状や法面の崩落等が発生し、安全対策の検討や設計の変更、新たな対策工の実施による大幅な工程の遅れが予想されたが、工期短縮の為に工法提案を行うなど、適切な工程のフォローアップを行った事や警報装置を設置するなど、安全対策へも十分配慮し工期内に工事を完成させたことは評価できる。

◆施工業者からのPR

・令和5年7月の豪雨災害により発生した、法面の崩落、新たな地すべり変状への対策(調査・検討、伸縮計設置、地下水排除工)の変更により、工程に大きな遅れが予想されたが、無足場アンカー工法での施工を提案し、足場工の工期を大幅に短縮することにより、工期内に工事を完成させた。 ・地権者に借地場所や山菜等の生育(栽培)場所等を確認することにより、借地場所の適切な使用、仮設工法の工夫をし、苦情やトラブルの発生無く工事を完成させた。

16 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	道路メンテナンス工事(橋梁補修) 04-F154-40		
路河川名/地区名	男鹿半島線	施工地名	男鹿市戸賀加茂青砂(立島2号橋)
商号又は名称	日本機械工業株式会社		許可番号 05-080900
請 負 額	49,585,800 円	工 種 ・ 格 付	鋼構造物 A級
代 表 者	代表取締役 伊藤 俊永		
監理技術者等	現場代理人 太田 三千治		
監督実施公所	秋田地域振興局(建設部)		
主任監督員	堀井 克則	監 督 員	松前 政勝
工 期	令和 4年11月11日～ 令和 5年11月30日	完成年月日	令和 5年11月20日
概 要	1) 橋長L=8.4m 幅員W=7.0(7.35)m 2) 工場製作工(主桁) W=10.0t 3) 架設工(角形鋼管床版橋) W=10.7t		
特 徴	1) 片栈橋の鋼橋架替え工事 2) 観光地へのアクセス道路上における終日片側通行規制 3) 隣接する複数の他工事との施工調整		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由

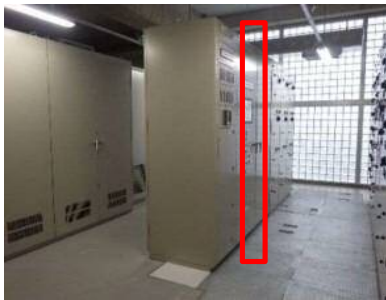
・日本海に面した急崖での片栈橋鋼橋架替え工事で、足場工の工夫により通行車両の安全運転向上に寄与した。 ・入道崎や男鹿水族館GAOへの観光アクセス道路での終日片側交互通行による通行規制を行いながらの工事で、大型観光バスも通行する中で事故なく工事を完成させた。 ・ロックシェッド補修工事や地すべり対策工事が隣接し、同時期に施工する必要があったが、車両通行幅員の確保や、信号機の時間調整をきめ細かく行い、他工事施工者との綿密な打合せにより工期内に工事を完成させた。

◆施工業者からのPR

・工事は、終日片側交互通行にて施工、また隣接して前後に他工事もあった為、規制もS字になることから3社で綿密な打ち合わせをし、保安施設の統一・規制看板等も1工事分とし、通行車両の安全確保に努めた。 ・男鹿半島線の為、観光バスの通行が多く、施工箇所の通行幅員も狭くギリギリの状態の為、計画有効幅員以上の幅員(最大)を確保、また観光バスの通行状態を確認し、赤信号等の時間調整をスムーズに通行できるように努めた。

17 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	道路メンテナンス工事（トンネル） 04-FI24-81		
路河川名/地区名	秋田北野田線	施工地名	秋田市中通（秋田中央道路）
商号又は名称	能代電設工業株式会社	許可番号	05-007936
請 負 額	138,673,700 円	工 種 ・ 格 付	機械器具設置 A級
代 表 者	代表取締役 山田 雄太		
監理技術者等	現場代理人 渡辺 雄太		
監督実施公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	三浦 博満	監 督 員	三浦 学
工 期	令和 5年 4月28日～ 令和 6年 3月22日	完成年月日	令和 6年 3月22日
概 要	1) 換気制御盤 1面 2) 一酸化炭素濃度計測装置(CO計) 3台 3) 交通量測定装置(TC計) 2台 4) 電話交換設備 1式 5) 交通監視システム 1式		
特 徴	1) 主要道路である秋田中央道路全域の施工 2) 換気整備を担う盤であるため短時間での施工が必要 3) 夜間規制で行うため限られた時間内での対応が必要		
写 真			
 完成（換気制御盤）  限られたスペースでの搬入 （換気制御盤）  完成（交通量測定装置）			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、道路メンテナンス工事で実施した秋田中央道路トンネル非常用設備の更新工事である。
- ・本工事の施工中、7月豪雨によりトンネル内が冠水し甚大な被害を受けた際、施工業者は工事対象機器のみならず、他の関連機器においても被害調査を行い、本トンネル全体の復旧計画に向けて尽力した。
- ・限られた工期の中で、豪雨による災害発生時には仮設照明や仮設排水設備の応急対策にも尽力したにもかかわらず、工期内で完成した。

◆施工業者からのPR

- ・換気制御盤はトンネル内換気設備を監視・運転する総合盤で、システムの停止時間を最小限にする必要があるため、管理者と綿密な打ち合わせを行い、安全かつ迅速に作業を進めた。
- ・光ケーブル敷設は夜間規制時の限られた時間内で行い、翌朝の全面通行時には工事材料をトンネル内に残せないため、適切な配線ルートを選定、通線材等の事前準備、敷設時の的確な指示および相互確認を徹底し、短時間での敷設を実現した。
- ・交通量測定装置はカメラによって車両を感知する。風雨や雪などで汚れないように屋根を作成し、品質の向上を図った。また、逆走や人、自転車がトンネル内に進入した際、迅速に警報を上げるシステムを提案し、採用されたことで安全性が向上した。

18 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	小板戸地区 農地中間管理機構関連ほ場整備工事 01003-K04		
路河川名/地区名	小板戸	施工地名	由利本荘市矢島町川辺
商号又は名称	矢島建設株式会社		許可番号 05-000224
請 負 額	137,899,300 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 土田 寛史		
監理技術者等	現場代理人 黒木 誠		
監督実施公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	阿部 喜孝	監 督 員	西澤 航平
工 期	令和 5年 3月28日～ 令和 6年 3月27日	完成年月日	令和 6年 3月27日
概 要	1) 整地工 A=6.5ha 2) 水路工 L=2,807m 3) 道路工 L=1,724m		
特 徴	1) 踏切による資機材搬入の制約がある工事 2) 工区内の一部区間においてイベント対応を必要とする工事		
写 真			
完成(全景) 		踏切の養生と見張役の配置 	
ウォーキングイベントへの協力 			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は旧矢島町の子吉川沿いのほ場及び道水路を整備し、ほ場の大区画化や土水路の装工、農道の拡幅等により営農の効率化・省力化を目的とするほ場整備工事である。
- ・工事区域へ至るルート全てに由利高原鉄道の踏切があり、重量制限があるほか遮断機が無く幅員が狭小等、資機材運搬に関する制約がある中、計画的に工程を管理し工期に遅れを生じることなく工事を完了させた。
- ・「秋田鳥海眺望のみちツーデーマーチ」というウォーキングイベントで、工区内の一部区間がコースとなったことから、事故防止のため、敷砂利やゴムマットによるイベント参加者用の歩道を築立したほか、当日の誘導員配置等を実行などイベントの成功に寄与し、地域への貢献につながっている。

◆施工業者からのPR

- ・ブルドーザやバックホウなどの重機搬入出では、踏切の敷板や鉄路を傷めないよう敷鉄板やゴムマットで養生を行い踏切を横断した。重機の踏切横断は時間を要するため、鉄道管理者からの立ち会いを受けつつ、安全衛生や危険予知に細心の注意を払った。鉄道管理者が立ち会わない場合も、踏切横断の際は必ず見張役を配置し事故防止に努めた。遮断機がない踏切には列車の時刻表を載せた看板を設置し、工事関係者を含め全ての踏切利用者の事故防止を目指した。
- ・ウォーキングイベントでは、参加者が工区内を通行するにあたり、敷砂利による歩道の設置(L=100m)や敷設済み敷鉄板のゴムマット養生(L=60m)を行ったほか、安全配慮の看板設置や当日の誘導員配置等によりイベントに協力し、後日主催者から感謝を受けた。

19 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	地方道路交付金工事（改築） 04-HF61-K1		
路河川名/地区名	国道108号	施工地名	由利本荘市鳥海町小川
商号又は名称	山科建設株式会社		許可番号 05-000622
請 負 額	171,086,300 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 山科 優		
監理技術者等	現場代理人 黒木 誠		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	伊藤 茂樹	監 督 員	芳賀 望美
工 期	令和 5年 3月17日～ 令和 5年11月30日	完成年月日	令和 5年11月30日
概 要	施工延長L=469.7m 1)掘削工870m3 2)盛土工1550m3 3)カルバート工23m 4)側溝工106m 5)防雪柵工142m 6)下層路盤工2710m2 7)上層路盤工3170m2		
特 徴	1)現道交通に配慮した施工計画の立案と実施 2)関連する複数工事との調整		
写 真			
旧道		バイパス完成	
			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は旧道の直角カーブを解消するためのバイパス工事のうち、起終点部分の改良・舗装（下層路盤～表層、一部地盤改良）を施工したものである。
- ・本工事箇所は、宮城県へ抜ける路線であるため大型車の交通量が多い箇所であった。また、現道を通しながらの施工であったが、現場条件を考慮した施工計画を提案し、適切な安全対策及び交通管理を行い事故や渋滞、苦情等もなく円滑に工事を完成させた。
- ・本工事区間では橋梁・舗装・市水道工事等、複数工事が並行して動いており、施工時期や施工内容に関して制約の多い中、関係者との協議を十分に実施し、トラブルなく工事を完成させた。
- ・住民への工事内容の周知はもとより、開通イベントへの協力等、他工事の模範となる。

◆施工業者からのPR

- ・現道接続部の施工が片側交互通行をしながらの切り回し施工で、特に大型トレーラー等が安全に走行できる幅員を確保する必要があったため、当初設計の取付道路の幅員を見直し、1回目、2回目の施工範囲について入念に計画した上で施工を行った。
- ・当該工事区間内には、由利本荘市水道工事や橋梁工事等の隣接した工事があり、各工事との工程調整を図りながら施工を行った。
- ・アスファルトフィニッシャーによるアスファルト混合物敷均し時の平坦性及び所定の厚さを確保するため、超音波式センサーを活用した。
- ・近隣住民には事前に工事内容の周知及び工事への理解を得るため、チラシを配布した。

20 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	大規模特定河川工事 04-KG40-10		
路河川名/地区名	芋川	施工地名	由利本荘市徳沢
商号又は名称	菊地建設株式会社		許可番号 05-001240
請 負 額	85,174,100 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 橋本 聡		
監理技術者等	現場代理人 伊藤 裕也		
監督実施公所	由利地域振興局（建設部）		
主任監督員	伊藤 茂樹	監 督 員	柳橋 翔太
工 期	令和 5年 3月24日～ 令和 5年12月15日	完成年月日	令和 5年 9月15日
概 要	1) 施工延長 L=250m 2) 掘削工 (ICT) V=10,000m3 3) 掘削工 V=2,100m3		
特 徴	1) ICT技術の活用ができる工事 2) 大雨時の洪水対応を必要とする工事		
写 真			
			
着工前(下流より)		完成後(下流より)	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は一級河川芋川において流下能力の向上を図るため、河道掘削を施工したものである。
- ・ICT技術を利用した施工履歴及び自動追尾式のTSを用いた出来形管理を行うことにより、作業の効率化や安全性の向上が図られた。また、出水の影響が工程に大きく影響をおよぼす現場であったが、隣接する被災箇所の応急復旧に早急に対応しつつ、無事故で工期に余裕を持って完成させ模範的な工事として評価するものである。
- ・圃場に隣接する現場であったが取水施設の堆積土砂撤去等の地域の要望に対応したことで、関係者とのコミュニケーションを良好に保ち、トラブル無く円滑に工事を完成させた。
- ・秋田市商工会の現場見学会に協力し、ICT技術の普及とイメージアップに努めた。

◆施工業者からのPR

- ・一級河川芋川は、毎年のように大雨に伴う洪水氾濫が発生し、低地部への冠水が発生するため、日々の施工量を踏まえながら、夏から秋にかけての台風シーズンまでに工事を完了することを目指した。洪水氾濫時の対応として、河川への土砂流出を抑止するため、施工日毎にその日の掘削箇所を明確に指示することで、極力現場の地盤をみださないように留意した。
- ・当現場では、ICT技術を活用した掘削を行ったことで、出来形管理精度及び安全性の向上、人員の削減、手戻り作業を無くすことにより施工日数を短縮することが出来た。芋川は洪水氾濫が発生しやすい為、掘削箇所の出来形管理を即時行える施工履歴による出来形管理を採用し、実際7月に発生した河川氾濫時には施工履歴の採用が活かされたことで工程の遅れが生じなかった。

2 1 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	杉沢柳沢地区 農地集積加速化基盤整備工事 10302-K07		
路河川名/地区名	杉沢柳沢地区	施工地名	大仙市土川
商号又は名称	株式会社宮原組	許可番号	05-010808
請 負 額	116,277,700 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 宮原 竜也		
監理技術者等	現場代理人 鈴木 晶登		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	藤本 賢	監 督 員	渡部 樹、櫻庭 夢叶
工 期	令和 5年 3月31日～ 令和 5年12月15日	完成年月日	令和 5年12月13日
概 要	1) 整地工 A=5.9ha 2) 用排水路工 L=3,175m 3) 道路工 L=301m		
特 徴	1) 農業農村整備工事におけるICT活用の試行工事 2) 掘削や土量移動に制限のある施工区域		
写 真			
 整地工完成  移動経路 生息場  UAVによる3次元施工管理			

◆監督実施公所の推薦理由

・本工事は、農業生産の効率化と高度化を図るため、ほ場の区画拡大等を行う工事である。整備内容は、区画整理のほか道水路整備も併せて行うものであり、工事にあたっては、周辺環境に配慮しつつ、営農開始まで一定の整備水準により実施されることが求められる。 ・このような条件の中、当該工事は、濁水防止の沈砂池の設置及び生物の生息環境に配慮した取り組みのほか、整備水準の確保や労働力軽減を目的に、基盤整地におけるUAVを活用した施工管理の検証等、様々な工夫を行っており、手戻りや遅れ等の発生もなく工期内に完了している。

◆施工業者からのPR

・本地区は、過去に客土工事を行っていることから、土量移動や掘削に制限があったほか、基盤土の軟弱化の防止や雨水処理を行う必要があったため、過掘防止等を目的にレーザーレベルを活用したことに加え、田面の排水対策(水切り)、沈砂池の設置による濁水対策を実施した。 ・農業農村整備事業におけるICT活用モデルの試行工事として、発注者と共に本事業においての従来手法とICT出来形測量の実施について比較検討を行い、ICT施工化に繋がる取り組みを積極的に行った。

2 2 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	太田南部地区 農地集積加速化基盤整備工事 09903-K21		
路河川名/地区名	太田南部地区	施工地名	大仙市太田町三本扇
商号又は名称	はりま建設株式会社		許可番号 00-009802
請 負 額	139,893,600 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 播間 泰		
監理技術者等	現場代理人 熊谷 拓海		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	加藤 佳介	監 督 員	菊地 亮太
工 期	令和 5年 3月31日～ 令和 5年12月 1日	完成年月日	令和 5年12月 1日
概 要	1) 整地工 A=7.5ha 2) 用排水路工 L=3,558m 3) 道路工 L=1,976m		
特 徴	1) 河川隣接地のため石礫が多い区域 2) 現況勾配がきつく田差が大きい地形条件		
写 真			
  			
石礫除去 田差の大きいほ場 HANAMARUの活躍			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・ほ場整備工事完成後の翌春には営農を開始するが、耕起作業時に受益者から石礫がありトラクターの爪が壊れたとの苦情が多く寄せられている。通常は表面に見える石礫を人力で除去するところ、自走式スクリーンの試験施工を行い効果検証に寄与するとともに効率化が図られた。
- ・田差が大きい現場であり完成形を何案か提示してから地元調整を行い、技術的工夫を含め工事が遂行された。
- ・女性が活躍できる建設業の実現を目指す「HANAMARU」社員によるインターンシップ等における情報発信に取り組んだ。

◆施工業者からのPR

- ・現況田の表土には大量の石礫が混入した状態であったが、自走式スクリーンを導入し、振動で表土と石礫を自動で分別・除去することにより、営農に支障のないほ場に仕上げることができた。
- ・ほ場の田差（標高差）が大きく、また、農道盛土位置出しの煩雑を解消するため、自動追尾型トータルステーションを活用し、農道の座標を高精度に把握することで、迅速且つ適正な施工管理に取り組んだ。
- ・高盛土の農道箇所もあったが、後に不等沈下が生じないよう、ブルドーザーによる縦横転圧作業を徹底した。

23 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	桁沢地区 予防治山工事 RF1114A051		
路河川名/地区名	桁沢地区	施工地名	仙北市西木町上桧木内
商号又は名称	株式会社鈴建興業		許可番号 05-009776
請 負 額	34,941,547 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 B級
代 表 者	代表取締役 鈴木 一義		
監理技術者等	現場代理人 八柳 健太		
監督実施公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	成田 光明	監 督 員	松田 隼人
工 期	令和 5年 5月29日～ 令和 5年12月18日	完成年月日	令和 5年11月13日
概 要	1) 治山ダム工（コンクリート谷止工）N=2基 V=362.7m3 2) 仮設工 N=1式		
特 徴	1) 急峻・狭隘な地形での工事 2) 施行地周辺住民との意見調整を必要とする工事		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は溪床幅の狭い箇所や、足場が悪い箇所もあり、安全管理に配慮が求められた状況下で、これまでの経験を生かした技術力や自動追尾型トータルステーションを使用した施工管理等、創意工夫を図ることにより効率的な施工が図られ、安全対策のみならず工程や出来形及び出来ばえについて優秀であった。
- ・施行地の土地所有者および地元との調整を積極的行ったことにより、トラブルは無かった。また、工事施行地周辺集落の地域課題について、地域貢献の一環として課題解決のため尽力している。

◆施工業者からのPR

- ・災害予防の一つとして、早期にダムを完成させることが重要であると考え、2基の谷止工を並行作業で進めることができるように作業工程を綿密に計画し、コンクリート養生期間及び休日（4週8休）を確保しながらも工期に余裕をもって完成することができた。
- ・安全管理においては山間部の作業であることから使用する重機の工夫や熊、蜂対策、山火事防止のための消火器訓練を実施した。
- ・地域に支えられている企業として、地域住民が抱える課題解決に積極的に取り組み、地域に貢献することができた。

2 4 第 4 5 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	広域河川改修工事 04-KA20-10		
路河川名/地区名	淀川	施工地名	大仙市協和中淀川
商号又は名称	株式会社協和土建		許可番号 05-011719
請 負 額	65,192,600 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 茂木 義行		
監理技術者等	現場代理人 佐川 明子		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	鎌田 幸雄	監 督 員	佐藤 壮太、大友 莉美
工 期	令和 5年 9月15日～ 令和 6年 3月26日	完成年月日	令和 5年12月22日
概 要	1) 施工延長 L=150.0m 3) 土砂等運搬 V=9,620m3 2) 掘削 V=9,600m3		
特 徴	1) 受注者希望型ICT活用モデル工事（ICT土工） 2) 受注者希望型女性技術者活用モデル工事（現場代理人）		
写 真			
完成写真 終点側  完成写真 起点側～ 			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は非出水期の施工と工事期間に限られる中、工程の遅れや安全確保にリスクを負いやすい降雪前に工事が完了できるよう、受注者希望型ICT活用モデル工事に取り組み、3次元による測量や施工、管理を実施することで工期短縮はもちろん、完全週休2日の達成やICT施工による品質の確保に努め、工期を大幅に短縮し、早期完成に及んだ点について評価される。
- ・現在の建設産業の課題の一つである若手技術者等の確保が重要と言われる中、受注者希望型女性技術者活躍モデル工事について、自主的に取り組んだことも評価される。
- ・工事広報の配布や地域住民とのコミュニケーションを積極的に図り、地域住民からの理解を得たうえでの工事施工に努めたことについても評価される。

◆施工業者からのPR

- ・本工事はベテランの経験と若手技術者の新技術への取り組みを融合させ、生産性の向上と地域と工事の相互理解と親和による円滑な現場運営を心がけ、次世代に繋がる自社モデル工事を目指し現地調査から施工まで一貫し実施したものである。
- ・生産性向上を目指しi-constructionの活用を企図し受注者希望型により掘削工、法面整形工にICT施工を導入した。本工事では、図面の3D化を実施し、結果として、測量作業の効率化、マシンコントロールによる重機作業の正確性、難易度の平準化を実現し、工期の短縮、品質の向上、完全週休2日の達成等の成果を得られた。
- ・ベテラン女性技術者の経験を継承するため受注者希望型でのモデル工事を実施した。経験や気づき、思いに基づき地域の皆様との親和を大事にしたことで円滑に工事を完成できた。

25 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	道路メンテナンス工事（橋梁補修） 05-F156-51		
路河川名/地区名	角館六郷線	施工地名	大仙市太田町三本扇（真昼川橋）
商号又は名称	株式会社佐藤建設		許可番号 05-011646
請 負 額	23,943,700 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 佐藤 吉博		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 良樹		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	今野 正規	監 督 員	小島 拓
工 期	令和 5年10月23日～ 令和 6年 3月22日	完成年月日	令和 6年 3月22日
概 要	1) 橋長 L=34.05m W=6.0(7.2)m 4) 主桁部分切削 L=1m 2) 断面修復工 N=1式 5) 現場塗装（桁、防護柵）A=208m ² 3) シール材設置 A=7m ²		
特 徴	1) 施工時期が冬期間に限定される工事 2) 安全な通行の確保が要求される工事		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本事業は昭和43年に竣工した真昼川橋の補修事業であり、本工事は主桁と防護柵の塗装を行った工事である。
- ・現場周辺は、六郷地区の国道13号から角館方面への幹線道路として広く利用されており、大型車の混入率が10.8%と多く、安全な交通の確保や安全な施工が要求される箇所である。
- ・現場は河川を横断する橋梁であるため、施工時期は非出水期である冬期に限定されており、施工管理においては温度管理に特に留意する必要があるなかで、品質向上に努めた。
- ・高欄を現場塗装から提案された屋内塗装へ変更したことで、交通規制の短縮や施工時の安全性を向上させるなど、安全管理を徹底し無事故で工事を完成させた。

◆施工業者からのPR

- ・高欄を一時撤去することによって、片側交互通行の日数が減り、通勤で利用する車両や路線バスとのトラブルや事故も無く、安全設備や交通誘導員の経費も抑えられた。
 - ・亜鉛メッキに対応しただけの塗料ではなく、融雪剤散布を考慮した塩害対策や中塗りを必要としない材料を使用して工期短縮と品質の向上に努めた。
 - ・室内での塗装により、現場に設置した囲いの中での塗装に比べて広い空間での塗装作業できたので細部まで丁寧に仕上げることができ、地覆部からの転落など事故のリスクが無くなり、安定した温度管理ができた。
- 以上の理由により、安全面と品質面の両方で向上が図られた。

26 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	火山砂防工事 04-SC10-10		
路河川名/地区名	オバコ沢	施工地名	仙北市田沢湖田沢
商号又は名称	佐藤建設株式会社		許可番号 05-002576
請 負 額	65,931,800 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 田村 保		
監理技術者等	現場代理人 戸澤 晃		
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	鎌田 幸雄	監 督 員	佐藤 壮太
工 期	令和 5年 3月27日～ 令和 6年 3月28日	完成年月日	令和 6年 2月 1日
概 要	1) 砂防堰堤 A路線管理用道路 L=301.8m 2) 流路 溪流保全工 L=119.0m		
特 徴	1) コンクリート打設が冬期間となる工事 2) 周辺環境への配慮を必要とする工事		
写 真			
完成写真: 函渠工から6号帯工		完成写真: 函渠工から2号帯工	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・冬期間の工事となり施工条件が厳しい中、コンクリート打設の創意工夫や温度管理を徹底して行ったことによりコンクリートの品質向上が図られた。
- ・左岸管理用道路を施工するにあたり、用地幅が少なく道路幅を確保するための対策工法が必要であったが、補強土壁工を提案し施工を行った。積雪前に完成させられるよう工程の進捗及び仮設備等に十分留意しながら施工を行い、2か月早く施工を完了した。
- ・自治会長への説明を十分に行い、地元とのトラブル無く工事を進めた。

◆施工業者からのPR

当工事においては、作業スペースが狭く通り抜けが不可能なため重複施工が困難であった。施工順序としては護岸工L=119m(左右岸)を先行し完了後に左岸側の補強土壁工(ジオテキスタイル)による管理用道路を築造完了した後に右岸側のA管理用道路の地盤改良L=116mを行いCBR値を確認後、路盤工を含むコンクリート舗装工L=256m、アスファルト舗装工L=46mを施工した。当該地域は想定される積雪深がH=2.5mのため積雪前に完成させられるよう、工程管理及び仮設備等に十分留意しながら施工を行い、12月末には現場の施工を完了した。

27 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	蛭野・角間川堰地区 かんがい排水工事 00406-K01		
路河川名/地区名	蛭野・角間川堰地区	施工地名	横手市大雄
商号又は名称	株式会社吉田建設		許可番号 05-002514
請 負 額	107,423,800 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 吉田 昌平		
監理技術者等	監理技術者 土田 雅登		
監督実施公所	平鹿地域振興局（農林部）		
主任監督員	袴田 直幹	監 督 員	今川 貴秋
工 期	令和 5年 8月10日～ 令和 6年 3月22日	完成年月日	令和 6年 3月22日
概 要	1)排水路工（大型フリーム）L=325m		
特 徴	1)居住地内での施工のため、地域住民とのコミュニケーション等の各種住民対策を必要とする工事 2)地域用水（消雪）の通水を必須とする工事		
写 真			
完成状況（上流から）		完成状況（下流から）	
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は幹線的な農業用水路の改修工事であることから工事中の排水量が多く、適切かつ効率的な対応や、住宅地内での施工であるため安全性の確保等も必要となるなど、難易度の高い工事である。
- ・ICT建設機械による土工作业や自動追尾機能を搭載したトータルステーションを導入するなど、先進技術を積極的に活用した。
- ・本工事は秋田県女性技術者活躍モデル工事であり、現場代理人や重機オペレーターに積極的に登用したほか、エアコンハウスの設置など現場環境の改善にも取り組んだ。

◆施工業者からのPR

- ・居住地内の施工であり、工事広報紙の配布などを行い安全対策等の周知や住民とのコミュニケーションを積極的に図ったほか、地域営農施設の砕石敷均しなどの地域貢献も実施した。
- ・現場の品質向上を目的に先進技術であるICT施工（水路の床掘作業）を積極的に取り組んだ。なお、ICT建設機械はリースとしたが、3次元設計データについては、発注者から提供を受けた2次元データにより現地調査を実施し、自社所有ソフトにより当社技術者自ら作成を行った。
- ・UAV（ドローン）を活用し、履行報告写真や工事前後写真へ活用した。
- ・冬季作業に対応した作業員の現場環境の改善を図った。

28 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	広域河川改修工事 04-KA15-10		
路河川名/地区名	横手川	施工地名	横手市朝倉町
商号又は名称	創和建设株式会社		許可番号 00-008544
請 負 額	103,958,800 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 小原 朗		
監理技術者等	現場代理人 小棚木 智宏		
監督実施公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	高野 健一	監 督 員	乳根 達矢
工 期	令和 5年 4月28日～ 令和 5年12月 4日	完成年月日	令和 5年12月 4日
概 要	1) 施工延長 L=112.3m 2) 法覆護岸工(石積) A=496m2 3) 表層 A=451m2		
特 徴	1) 男鹿石を使用した石積による景観配慮工事 2) 各種の調整協議を必要とする住宅地隣接の工事		
写 真			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は景観との調和をはかるため、男鹿石を用いた石積工を採用しており、高い技術力が求められる工事である。その高い技術力を遺憾なく発揮し、かみ合わせよく隙間なく石材が積み上げられていることで表面の美観がよく、景観と調和した河川づくりに寄与している。
- ・7月豪雨等の出水により度々工事の中断を余儀なくされたが、工程を調整し、代替品の使用等で工期の短縮を図り、予定期間内に事故なく工事を完成させた。
- ・住宅隣接工事であり、通学路としても使用される道路であることから、転落防止として施工区間全線に単管柵を設置することで安全対策に努めた。また、7月豪雨時橋脚に堆積した流木の撤去や、地元高校のインターンシップを受け入れるなど、地域貢献活動に積極的に取り組んだ。

◆施工業者からのPR

- ・本工事は自然と調和させた護岸をコンセプトに、男鹿石の加工から石積まで出来栄のの良い景観と調和させた石積を施工する事が出来た。
- ・護岸掘削による影響範囲が既設道路に及んだことから、関係各所との協議や地域住民への説明を行い、終日車両通行止めで施工をした。また、歩行者の転落防止として単管柵やのぼり旗を設置し注意喚起を行い事故やトラブルなく無事に工事を完成させた。
- ・夏休み企画、『女性エンジニア「SAKURA」といく小中学生建設現場体験会』を実施し、自分達で考案した分かりやすいクイズを出したり重機の試乗体験をする等楽しんでもらえて、土木工事のイメージ向上や魅力を発信できた。

29 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	堂ヶ沢地区 中山間地域農業活性化緊急基盤整備工事 02503-K02		
路河川名/地区名	堂ヶ沢地区	施工地名	湯沢市山田
商号又は名称	株式会社鈴木建設工業	許可番号	05-081844
請 負 額	45,005,400 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 鈴木 新一		
監理技術者等	現場代理人 柴田 峻輔		
監督実施公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	高橋 忍	監 督 員	小武海 隆仁
工 期	令和 5年 9月29日～ 令和 6年 3月21日	完成年月日	令和 6年 3月21日
概 要	1)排水路工 L=300m（排水フリームH900×B800mm）		
特 徴	1)ほ場の排水不良の解消を目的とした排水路整備 2)軟弱な土質条件での施工		
写 真			
			
			
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、施設の老朽化に起因する破損やはらみ、不等沈下による慢性的な通水障害を解消するために行うものである。
- ・施工にあたっては、コンクリートの品質を確保するため、低温時の養生用として仮設屋根を設置し温度管理等を行い適切な品質を確保するなど、品質管理向上への取組が顕著であった。
- ・地域のコミュニケーションを図りながら企業努力による環境保全、美化、地域貢献を積極的に行い堂ヶ沢自治会から感謝状を贈呈されるなど、他の模範となるものであった。

◆施工業者からのPR

- ・施工路線沿いの営農者と連絡調整を密に行い、営農作業に支障を生じさせなかったことや、不明瞭な既設暗渠管の把握に努めたことなど、常に「営農目線」での施工を心がけ無事故で工事を完成させることが出来た。
- ・施工においては、土質が軟弱であったことから溝畔崩れが生じないよう短いスパンでの既設フリーム撤去、掘削、設置、埋戻しを行い、ほ場への影響の軽減に努めた。
- ・積極的に、地域の清掃などを行い、コミュニケーションを図りながら工事を進め、地域社会の貢献に努めたことから苦情やトラブルはなく地域の自治会から感謝状を頂いた。

30 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	交通安全対策工事（通学路緊急対策） 04-F185-20		
路河川名/地区名	大曲大森羽後線	施工地名	雄勝郡羽後町新町
商号又は名称	株式会社小野建設	許可番号	05-006332
請 負 額	116, 202, 900 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 小野 雅敏		
監理技術者等	現場代理人 宇戸 睦		
監督実施公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	小林 勇	監 督 員	梅井 靖彦
工 期	令和 5年 7月28日～ 令和 6年 3月25日	完成年月日	令和 6年 3月25日
概 要	1) 施工延長 L=480m 2) 掘削工 V=12, 670m3 3) 盛土工 V=11, 030m3 4) プレキャストカルバート工 L=101m 5) 側溝工 L=548m 6) 下層路盤工 A=2, 560m2		
特 徴	1) ICT活用モデル工事 2) 埋蔵文化財調査との工程調整及び調査協力を要する工事 3) 起点側工区と終点側工区に分割された工事箇所への対応		
写 真			
完成（起点側工区）  完成（終点側工区）  ICT技術のフル活用  MCバックホウ ICT土工用 転圧ローラ （法面整形） 転圧ローラ 地元小学生の絵を飾ったイメージアップ看板 			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・土工主体の工事で、降雪前までにどこまで進捗を図れるかがポイントとなる工事であったが、ICT施工や現場業務支援アプリの活用により、省人力化と作業の効率化による工程短縮を図るとともに、埋蔵文化財調査への協力や軟弱地盤対策工の追加など突発的な増工に対しても施工体制を増強することで工程をリカバリーし、工期内に工事を完成させた。
- ・埋蔵文化財調査との調整で、終点側工区の一部盛土が冬期施工となったが、含水比が上がらないよう、作業終了時に全面シートで養生するなど適切な対策を行い品質確保に努めた。
- ・起点側工区から終点側工区に土砂を運搬する際も、狭隘な現道を運搬するにあたって、沿道住民に工事広報を配布し、理解と協力を得たことで苦情等も無かった。

◆施工業者からのPR

- ・起点側工区と終点側工区の間で実施する埋蔵文化財調査との工程調整や表土剥取りなどの調査協力が必要となったが、起点側工区、終点側工区、調査工区と施工体制を3班体制で進めたことで、双方の工程に遅れを生じさせることなく工事を完成させることができた。
- ・降雪前に盛土作業を完了させるため、ブルドーザによる敷均し、TS・GNGGを用いた盛土の締固め管理、MCバックホウによる切土・盛土法面整形など、ICT技術を全面的に活用し、省力化を図り工程管理に努め品質を確保した。
- ・イメージアップ看板の設置、地元小学生を対象とした建設産業体験学習会の受け入れ、ICT施工現場見学会を実施し、建設業及びICT施工の魅力を伝えることに貢献することができた。

3 1 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	秋田湾産業新拠点[A-BIZ]道路改良工事 04-IJM10-20		
路河川名/地区名	秋田湾産業新拠点(A-BIZ)	施工地名	秋田市飯島
商号又は名称	古城建設株式会社		許可番号 05-002452
請 負 額	82,883,900 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 高山 彰		
監理技術者等	現場代理人 茜谷 光則		
監督実施公所	産業集積課		
主任監督員	石川 拓磨	監 督 員	古関 建太
工 期	令和 5年 4月 7日～ 令和 5年12月 8日	完成年月日	令和 5年10月23日
概 要	1) 施工延長 L=455.5m 2) 下層路盤(t=350mm)、上層路盤(t=150mm) A=5,010m ² 3) 自由勾配側溝 L=908.0m		
特 徴	1) 同時期施工となる隣接工事との調整を要する施工 2) 厳しい気象状況のなかでの作業を要する工事		
写 真			
			
着手前		完 成	

◆監督実施公所の推薦理由

- ・本工事は、道路を建設するための土工、下層・上層路盤工及び排水構造物工を実施したものであるが、施工箇所への搬出入路が限られており、近接工事（民間工事）と同じ搬出入路を使用する必要があったことから、搬出入の時間が極力重複しないように連絡調整を密に行った。
- ・施工期間中は真夏日が連日続き、作業従事者の体調管理を特に注意する必要があったが、空調の整っている休憩所を設置し定期的に休憩を指示したほか、後方監視カメラ搭載バックハウ（NETIS登録）を採用し作業の安全性を向上させるなど、工事全体に対する安全管理への取り組みが優れていた。
- ・道路法面の植生工に超短草植物種子を用い、除草等維持管理の省力化に配慮している。

◆施工業者からのPR

- ・工事施工中、令和5年7月と9月の2回豪雨が発生したが、7月豪雨時の経験を基に、9月豪雨時は事前に法面保護のためシート養生を行ったり、臨時の排水路を設置する等対策を行い、被害を最小に抑えることが出来た。
- ・真夏日が続き、現場作業従事者の体調管理が懸念されたため、熱中症対策として、1時間に1回冷風の効いた現場事務所での休憩、塩飴や経口補水液の完備を行ったことにより、8月は秋田県で昨年の10倍と大幅に増加した熱中症患者を現場作業従事者に発生させないように努めた。
- ・植生工において、4種の超短草植物導入で生分解型樹脂ネットを使用することで環境に配慮したほか、除草等の維持管理を省略化することができた。

3 2 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	秋田空港滑走路改良工事 04-QA12-K2		
路河川名/地区名	秋田空港	施工地名	秋田市雄和椿川
商号又は名称	菅与組・アキケン特定建設工事共同企業体		
請 負 額	332,663,100 円	工種・格付	舗装 A級
代 表 者	株式会社菅与組 代表取締役 菅原 孝次郎		
許可番号	05-000958	監理技術者等	現場代理人 工藤 幸徳
(構 成 員)	株式会社アキケン 代表取締役 柏崎 哲		
(許可番号)	05-009704	(監理技術者等)	主任技術者 齊藤 雄太郎
監督実施公所	秋田空港管理事務所		
主任監督員	山口 秀憲	監 督 員	佐藤 人至、佐藤 健
工 期	令和 5年 5月12日～ 令和 5年11月20日	完成年月日	令和 5年11月17日
概 要	1) 施工延長 L=258m 2) アスファルト舗装工(表層) A=15,480㎡ 3) グルーピング工 A=16,680㎡ 4) 飛行場標識工 N=1式 5) 灯火施設工 N=1式		
特 徴	1) 秋田空港制限区域内での施工 2) 夜間工事(22:00～6:00)の作業時間厳守と切削即日舗装復旧を要する工事		
写 真			
滑走路切削状況写真 (ICT切削機2台)		滑走路舗設状況写真 (ICT大型フィニッシャー2台)	ショルダー舗設状況写真 (ICT大型フィニッシャー2台)
			

◆監督実施公所の推薦理由

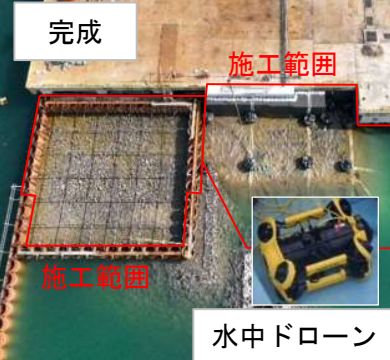
- ・当工事は秋田空港制限区域内での滑走路改良(舗装補修)工事であり、時間的制約、空港場内管理、施工・品質管理等、厳しい条件下での施工が求められる難易度の高い工事である。
- ・高い精度を求められる滑走路の施工において、切削機及び大型アスファルトフィニッシャーにICT計測装置・マシンコントロールを設置し、ICT技術を活用することで施工の効率化を図り、良好な舗装平坦性・品質の確保を行った。
- ・航空灯火の施工において、不点灯による運用制限を最小限にしながら、高い据付精度管理(間隔、高さ、角度等)で舗装進捗に合わせた灯火復旧を行った。

◆施工業者からのPR

- ・作業効率の向上を図る為、切削工2班、舗装工(大型フィニッシャー7.5m)2班、大型ダンプトラック約25台を要し、日平均900㎡(幅員60m、延長15m)を切削即日基層・表層2層復旧で、約15,500㎡の滑走路舗装、約4,000㎡のショルダー舗装を無事故で工期内に完成させた。
- ・品質向上を図る為、切削工、舗装工共にマシンコントロールのICT舗装機械を活用した。従来の切削工、舗装工の出来栄はオペレーターの技量に左右されがちで、表層の平坦性に影響する。加えて本工事は横断打継目(施工ジョイント)が15m毎に18箇所あり平坦性の確保が懸念された。自動制御のICT切削、ICT舗装を活用することにより、切削工・舗装工の出来栄共によく、平坦性試験結果は規格値2.4mm以下に対し1.1mmと平坦性の良い舗装に仕上げる事が出来た。

3 3 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	大森ふ頭用地造成工事 04-Z801-40		
路河川名/地区名	能代港	施工地名	能代市大森
商号又は名称	伊藤栄・高橋秋和特定建設工事共同企業体		
請 負 額	344,825,061 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	伊藤栄建設株式会社 代表取締役 伊藤 栄典		
許可番号	05-000807	監理技術者等	現場代理人 門脇 亨
(構 成 員)	高橋秋和建設株式会社 代表取締役社長 高橋 敦		
(許可番号)	05-082090	(監理技術者等)	主任技術者 阿部 司
監督実施公所	能代港湾事務所		
主任監督員	鷺谷 吉宣	監 督 員	藤枝 雅利
工 期	令和 4年 8月 2日～ 令和 5年 6月26日	完成年月日	令和 5年 6月26日
概 要	1) 施工延長 L=31.0m 2) 鋼杭回転切削圧入Φ1000 N=29本 3) 鋼杭回転切削圧入Φ318.5 N=28本 4) 腹起し L=31.0m 5) タイ材 N=3本 6) 本体ブロック製作・据付 N=23個		
特 徴	1) 既存構造物への影響を考慮した振動対策を要する工事 2) 鋼管杭の精度管理が重要な工事		
写 真			
 鋼杭回転切削圧入  杭精度管理システム  完成 施工範囲 水中ドローン			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・能代港の大森ふ頭用地造成事業の中で最も水深の深い既設棧橋式岸壁に隣接し、波浪の影響を大きく受ける位置での工事であったが、新技術の杭精度管理システムにより高い品質を確保した。また、鋼杭回転切削圧入にウォータージェット工法を併用し振動を抑制させ、既設棧橋式岸壁が損傷しないように配慮した。
- ・水中ドローンを活用し、安全性の向上と同時に品質管理作業の省力化を達成した。
- ・波浪等の厳しい施工条件に対応するため、移動と変形が可能な仮設足場を使用し、仮設足場の設置撤去に要する時間を短縮したことで稼働率を高めた。

◆施工業者からのP R

- ・本工事は既設棧橋式岸壁の捨石層が支障となることから、鋼杭回転切削圧入を施工したもののだが、既設岸壁との間隔が50cmと狭く、圧入時期についても海上工事で最も厳しい冬期にかけ、波浪による構造物への影響が懸念された。そこで圧入時の変位、傾斜量等、杭の挙動をリアルタイムに管理することができる杭精度管理システムを導入し、高精度な出来形管理を実現した。
- ・従来、海中確認には船舶を使用し、潜水士、送気員、監視員等のチームで実施していたが、特に冬期の海象によっては危険を伴うことから、多数の作業中止が余儀なくされていた。当現場では、1人でも操作可能な水中ドローンの常備、活用により、海象に左右されることなく人員調整も不要で、安全かつ効率的に静止画、及び動画を撮影し、海中を確認することができた。

3 4 第45回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要

工 事 名	大曲高等学校 校舎棟建築工事		
路河川名/地区名	大曲高等学校	施工地名	大仙市大曲栄町
商号又は名称	荒屋舗・丸茂・興栄・さとう特定建設工事共同企業体		
請 負 額	2,218,007,000 円	工 種 ・ 格 付	建築一式 A級
代 表 者	株式会社荒屋舗建設 代表取締役 今野 春夫		
許可番号	05-002793	監理技術者等	監理技術者 高橋 英輝
(構 成 員)	株式会社丸茂組 代表取締役 小松 正人		
(許可番号)	05-008285	(監理技術者等)	主任技術者 森元 佑太
(構 成 員)	興栄建設株式会社 代表取締役 齋藤 靖		
(許可番号)	05-012175	(監理技術者等)	主任技術者 梅津 靖
(構 成 員)	株式会社さとう 代表取締役 佐藤 賢一		
(許可番号)	05-012742	(監理技術者等)	主任技術者 田村 正文
監督実施公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	千葉 智規	監 督 員	千葉 大輔
工 期	令和 3年10月 7日～ 令和 5年 6月30日	完成年月日	令和 5年 6月22日
概 要	1)校舎棟建築工事 鉄筋コンクリート造 3階建て 建築面積 3,025.55㎡ 延床面積 7,557.73㎡		
特 徴	1)狭小地での施工を要する工事 2)住宅敷地と隣接した施工地のため、騒音・振動対策が必須の工事		
写 真			
完成(外観)		完成(普通教室)	完成(講堂)
			

◆監督実施公所の推薦理由

- ・狭小地での施工であり、計画的に作業スペースを確保し工期内に工事を終わらせた。
- ・現場敷地が住宅敷地と隣接しており重機使用作業時に発生する騒音・振動について配慮が必要な現場であった。携帯型騒音振動計を使用し定期的に数値が基準内であることを確認した。
- ・複数の関係業者が立ち入る中、作業員に対し定期的な安全衛生教育の実施、管理ソフトを使用したリアルタイムでの情報共有を行い、適切に安全衛生管理、工程管理を行った。

◆施工業者からのP R

- ・県教育庁が行う埋蔵文化財試掘調査に関する工程調整と試掘協力をした。
- ・次期工事位置確認(体育館)を本工事と共に実施した。
- ・文武両道を掲げる学校の為、テスト期間の騒音・振動対策を学校連携で実施した。
- ・テニス強豪校の為、当初計画残土置き場(テニスコート)を変更し練習場所を確保した。
- ・近隣住宅地への工事協力依頼(挨拶周り66軒)と、住宅側騒音振動計により測定確認した。
- ・工事便りを学校との連携でHPへ掲載し、工事進捗報告と工事への協力依頼を実施した。
- ・建設業協会による業界アピール動画(協会ホームページ掲載)撮影へ協力した。
- ・大曲労働基準監督署報告命令による統括管理報告書提出を定期に行い、災害に対する意識高揚と対策継続で、第三者無災害及び無事故無災害で工期内完成した。

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	神部秀行
選考委員	総	務	部長	谷剛史
〃	農	林	水産部長	齋藤正和
〃	建	設	部長	川辺透
〃	出	納	局長	今川聡

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹 事 長	建 設 部 建 設 産 業 振 興 統 括 監				小 野 潔		
(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)							
幹 事 部 会 長					徳 重 英 信		
〃	副 部 会 長					渡 辺 純 也	
〃	専 門 委 員					後 藤 文 彦	
〃	専 門 委 員					荻 野 俊 寛	
〃	専 門 委 員					増 田 周 平	
〃	専 門 委 員					長谷川 兼 一	
〃	専 門 委 員					浅 野 耕 一	
〃	専 門 委 員					石 山 智	
〃	専 門 委 員					永 吉 武 志	
(秋 田 県 知 事 部 局 関 係 課 室)							
〃	農 山 村 振 興 課 長					小野寺 平 崇	
〃	参 事 (兼) 農 地 整 備 課 長					足 立 徹	
〃	森 林 環 境 保 全 課 長					小 野 圭	
〃	産 業 集 積 課 長					小 野 貴 宏	
〃	技 術 管 理 課 長					古 山 司	
〃	道 路 課 長					石 川 康 樹	
〃	河 川 砂 防 課 長					高 杉 英 幹	
〃	港 湾 空 港 課 長					備 前 亨	
(秋 田 県 教 育 庁 関 係 課 室)							
〃	総 務 課 施 設 整 備 室 長					佐 藤 政 彦	

秋田県優良工事表彰要綱

（表彰の目的）

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

（表彰の対象）

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

（表彰の名称）

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

（表彰の基準）

第4条 次のすべてを満足すること。

- （1）当該工事の出来形が優秀であること。
- （2）当該工事全般の管理状況が良好であること。
- （3）当該企業において労働災害がないこと。
- （4）当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- （5）建設業法を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

（推 薦）

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

（選考委員会）

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。

3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。

4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

（表 彰）

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰及び地域振興局長表彰とする。

2 被表彰者は、施工企業の代表者（共同企業体の場合にあっては、構成員のそれぞれの代表者）及びその工事を担当した監理技術者等とする。

（事務局）

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

（補 則）

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂

平成12年4月1日一部改訂

平成16年4月1日一部改訂

平成18年4月1日一部改訂

平成19年4月1日一部改訂

平成20年4月1日一部改訂

平成21年6月1日一部改正

平成22年4月28日一部改正

平成23年4月25日一部改正

平成24年4月1日一部改正

平成28年2月9日一部改正

平成29年3月9日一部改正

平成30年3月16日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P39の名簿参照のこと。

第10回 秋田県優良業務表彰 業務一覧表

測量業務部門

番号	委 託 業 務 名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	港湾施設用地有効活用推進事業 用地測量業務委託 05-PK10-Y3	旧秋田臨海 鉄道南線	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	秋田港湾事務所
2	戸島地区 農地集積加速化基盤 整備業務委託 10203-Y06	戸島地区	株式会社測地コンサル タント	高橋 敦	秋田地域振興局
3	用地測量業務委託 04-F198-Y4	横手停車場 線	株式会社ワイズシステム	太田 一弘	平鹿地域振興局

地質調査業務部門

番号	委 託 業 務 名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	秋田第11(秋田)地区 震災対策 農業水利施設整備業務委託 40401-Y01	秋田第11(秋 田)地区	株式会社創研コンサル タント	金田 一和男	秋田地域振興局
2	地すべり災害測量調査設計業務 委託 04-8006-Y1	国道105号	奥山ボーリング株式会社	奥山 信吾	仙北地域振興局

土木設計業務部門

番号	委 託 業 務 名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	抜沢地区 緊急予防治山業務委 託 RD1102B311	抜沢地区	一般社団法人秋田県林 業コンサルタント	高松 武彦	秋田地域振興局
2	湯沢南部地区 機能診断・保全計 画策定業務委託 11201-Y01	湯沢南部地 区	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	雄勝地域振興局
3	災害査定調査事業 河川災測量 設計業務委託 05-8003-Y3	埴川	株式会社測地コンサル タント	高橋 敦	山本地域振興局
4	「未来につなぐJOMON」世界遺 産魅力アップ事業 道路予備設計 業務委託 05-BH10-Y1	(主)十二所 花輪大湯線	セントラルコンサルタント 株式会社 東北支社 秋田営業所	佐藤 大起	鹿角地域振興局
5	河川概略検討業務委託 04-K241-Y3	二級河川 富津内川 ほか	株式会社建設環境研究 所 東北支社	綿貫 建	秋田地域振興局

調査点検等業務部門

番号	委 託 業 務 名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	砂防関係施設点検業務委託 04-LD06-Y2	先達川 他	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	仙北地域振興局

用地調査等業務部門

番号	委 託 業 務 名	路河川名 /地区名	受注者名	代表者名	発注公所
1	港湾施設用地有効活用推進事業 土地利用調査業務委託 05-PK10-Y1	秋田港 向 浜地区 ほ か	株式会社ウヌマ地域総研	鶴沼 順之	秋田港湾事務所

測量業務部門1 第10回 秋田県優良業務表彰 受賞業務概要

◆業務概要

委 託 名	港湾施設用地有効活用推進事業 用地測量業務委託 05-PK10-Y3		
地 区 名	旧秋田臨海鉄道南線		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請 負 額	9,884,600 円	種 別	測量業務
代 表 者	代表取締役 鵜沼 順之		
管理技術者	渡邊 謙吾		
発注公所	秋田港湾事務所		
主任調査員	浪岡 幸宏	調 査 員	岩谷 信介
工 期	令和5年7月14日 令和6年3月22日	完成年月日	令和6年3月22日
概 要	境界確認測量 A=11,300m ² 公図連続図作成 A=83,100m ²		

◆受注者の声

【本業務の目的】

本業務は、港湾施設の用地有効活用を推進するため、5工区に分割発注された用地測量の内(Y2～Y6工区)、秋田市寺内側の国道7号と大型店舗・工場及び会社事務所等に挟まれた、Y3工区(旧秋田臨海鉄道南線敷地)の測量業務である。

【本業務の特徴・課題】

◆既存境界杭の確認作業

- ・当該区間は、鉄道施設の撤去により敷地全体が整地され、既存境界杭等が埋もれて確認できない状況であった。

〈当社の対応〉

- ・正確かつ効率的に作業を行うため、衛星を利用した「GNSS測量」を提案し実施。
- ・さらに「復元測量」は、当初より作業班を増やし、作業工程の短縮を図った。

◆有効活用に適した土地分割案の提案

- ・市道交差点部及び地下埋設物等の支障範囲、並びに同地番の複数の管理者(管理地)など、各関係機関と調整・協議が多数必要とされた。

〈当社の対応〉

- ・各関係管理者と密に協議を行い、現場で相手側の必要範囲を確認することで、効果的な土地の分割案を提案することができた。



【旧鉄道敷地】



【境界杭設置状況】



【境界杭設置状況】



【地下埋設物】

◆発注公所の所見

本業務は、港湾施設用地(旧秋田臨海鉄道南線敷地)の有効活用を図るための用地測量業務(Y3工区)である。業務の実施にあたっては、別途発注の土地利用調査業務と相関があることから関係事業者及び発注者と事前に打合せを行い作業工程等について共有し業務を円滑に遂行した。また、提出された測量成果簿、用地成果簿は内容についてわかりやすく作成されており、評価することができた。

◆業務概要

委 託 名	戸島地区 農地集積加速化基盤整備業務委託 10203-Y06		
地 区 名	戸島地区		
商号又は名称	株式会社測地コンサルタント		
請 負 額	10,621,600 円	種 別	測量業務
代 表 者	代表取締役 高橋 敦		
管理技術者	加藤 力		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	佐藤 奈津子	調 査 員	高野 尚紀
工 期	令和5年7月21日 令和6年2月22日	完成年月日	令和6年2月22日
概 要	整備区域境界測量 A=2.8ha		

◆受注者の声

【業務概要】

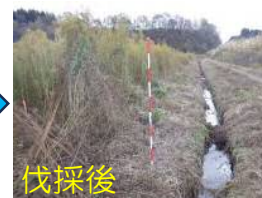
本業務は、秋田市河辺戸島地区において効率的な営農の土地利用を目的とした農地集積加速化基盤整備事業を推進するための区域境界測量である。

【業務遂行上の課題】

- ①業務区域の一部で(右写真)は、その大部分が遊休農地となっており、農地、道路、水路等の境界が容易に確認できない状況である。
- ②境界確認は、稲刈り後から降雪までの短期間で終了させる必要がある。

【課題に対する対応】

- ①発注者との協議の上、草木が繁茂している農地・水路・道路の伐採を行った。また、近年の航空写真では草木の影響で耕地界が不明瞭であったため、殆どの農地が耕作されていた2009年代の航空写真重ね図を作成して地権者や発注者に提示したことにより、スムーズな進捗を図ることができた。
- ②降雪期前まで境界確認を終えるために、稲刈り前に下記の対応を実施し、効果を得た。
 - ・公図と現地との形状について整合性を把握
 - ・資料調査結果から用地的課題の抽出
 - ・基準点設置予定箇所の現地条件把握
 これら全ての対応により、10月下旬に民有地の境界確認を終了した。



◆発注公所の所見

本業務は、農地集積加速化基盤整備事業における区域境界測量業務である。
 現地での測量作業は秋の稲刈り後から降雪前までの短期間で完了させ、地権者の立会確認を得る必要があったが、作業の効率化や境界立会の円滑化に努め、遅延無く業務を遂行させることができた。また、地権者に対し丁寧な説明及び対応を徹底した結果、トラブル無く業務を完了させた。

◆業務概要

委 託 名	用地測量業務委託 04-F198-Y4		
地 区 名	横手停車場線		
商号又は名称	株式会社ワイズシステム		
請 負 額	8,233,500 円	種 別	測量業務
代 表 者	代表取締役 太田 一弘		
管理技術者	福田 祐貴		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任調査員	藤原 徹	調 査 員	久米 真孝
工 期	令和5年6月30日 令和6年3月11日	完成年月日	令和6年3月11日
概 要	用地幅杭設置測量 L=0.21km 用地測量 A=11,200m ² 用地境界仮杭設置 A=1,100m ²		

◆受注者の声

1. 業務の特徴

本業務は、主要地方道横手停車場線の整備区間を対象に工事施工に関わる土地の用地測量を実施したものである。整備区間の現道は、通学路となっているものの、道路幅員が狭く歩道がない現状で、過去には事故が発生しており、早急な交通安全対策が必要となっている区間である。

2. 業務において苦労した点

- ・弊社測量範囲は、旧土地台帳附属地図・土地改良所在図・土地区画整理所在図と公図の種類が複数にわたり、それぞれに問題点が存在したため、調査・問題解決に時間を要した。
（無地番の土地、接合部分の道路・水路の閉鎖漏れ、換地処分の際の誤謬、法定外水路の譲与漏れ、備付地積測量図と推定筆界の不一致、区画整理基準点及び筆界点との座標値の乖離など）
- ・遠方の所有者または所在不明の所有者がおられたため、権利者確認調査に時間を要した。
- ・現道は1日を通して交通量が多く、道路幅員が狭いため現場作業には危険が伴った。

3. 業務において工夫した点

- ・本格的な降雪時期を迎える前に境界立会を実施する必要があったため、調査・問題解決にあたっては優先順位を決め、境界立会に関わることを優先的に行った。
- ・土地区画整理地区においては、精度区分が甲1であることから、発注者と協議の上、異なる基準点成果を使用与点とすることによる座標値の乖離を最小限にすべく、残存する最寄りの区画整理基準点を参照点としたヘルマート変換を行い、間接復元による復元測量を実施した。
- ・用地買収後に囑託する分筆登記を確実にを行うため、用地実測図を作成する前に留意すべき点を整理し、発注者と協議の上、管轄法務局への登記相談を行った。



◆発注公所の所見

- ・今回の測量地域は都市計画区域における準工業地域及び第二種中高層住居専用地域である。商店や住宅が建ち並ぶ住宅混在地域であり、公図間の整合や古い時代の地積測量図があり解決すべき課題が多くあったが資料の取扱いや分析力・まとめ方等に優れていた。
- ・土地区画整理事業により公図の精度区分が高い地域については図面調製に伴って高い技術力が発揮された。

◆業務概要

委 託 名	秋田第 11 (秋田) 地区 震災対策農業水利施設整備業務委託 40401-Y01		
地 区 名	秋田第11 (秋田) 地区		
商号又は名称	株式会社創研コンサルタント		
請 負 額	13,041,600 円	種 別	地質・土質調査業務
代 表 者	代表取締役 金野 一和男		
管理技術者	浅川 敬公		
発注公所	秋田地域振興局 (農林部)		
主任調査員	藤田 祐貴	調 査 員	佐藤 新
工 期	令和5年11月2日 令和6年3月15日	完成年月日	令和6年3月14日
概 要	ため池地質調査業務 N=4箇所、 総合解析業務 N=1式		

◆受注者の声

本業務は、地形・地質・利用条件等の異なる4箇所(後沢、頭堤、蓮堤、分水堤)のため池について、耐震性の有無の検討に必要な堤体および基礎地盤の地質に関する基礎資料を得ることを目的として、機械ボーリング調査、地下水位観測、各種原位置・室内土質試験を実施した。

1. ため池の地形状況に応じたボーリング位置の選定

堤体の安定性照査のためにはボーリング位置の選定が非常に重要となる(例えば最深沢部等)。そのため、GISを用いて各ため池ごとに古地図、地質図、空中写真を対比し、推定される地質状況や基礎地盤の分布深度から、最適なボーリング位置を提案した。

2. 現場制約がある中での調査の安全な実施

頭堤においては堤体天端が男鹿市道と兼用となっており、道路管理者との協議で迂回路を確保した通行止めによる対応とした。また、調査時期が降雪時期と重なるため、ホイールローダの事前準備による迅速な除雪対応に加え、周辺住民への事前周知や工事看板の設置の徹底により安全に業務を完了することが出来た。

3. 現堤状況に応じた調査結果の考察と提案

各現堤状況と調査結果の照合時に想定される検討事項を整理し、技術的な視点からその原因についての検討を実施した。最終的に調査結果の報告と併せて他事例を踏まえた提案値を報告し、後続調査時の課題として整理して報告書のとりまとめを行った。



【交通規制協議用位置図】



【ボーリング調査状況】

◆発注公所の所見

本業務は、調査箇所が点在しており各ため池の調査条件が異なる業務であったが、技術的な視点に基づく資料の検討や地質調査業務の実施から、円滑に業務を完成させることが出来た。特に、現場制約がある中での調査となったが、連絡を密に取ることで安全に遂行することが出来た。また、業務打ち合わせや納品時には丁寧な説明が行われ、調査結果を踏まえた提案もなされるなど、十分な技術力が発揮された。

◆業務概要

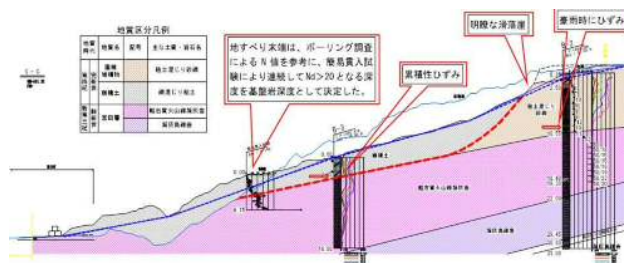
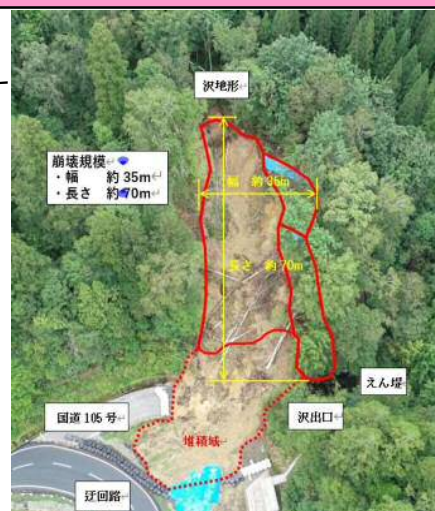
委 託 名	地すべり災害測量調査設計業務委託 04-8006-Y1		
地 区 名	国道105号		
商号又は名称	奥山ボーリング株式会社		
請 負 額	33,366,300 円	種 別	地質・土質調査業務
代 表 者	代表取締役 奥山 信吾		
管理技術者	深澤 勇気		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任調査員	菊地 秀達	調 査 員	中山 英貴
工 期	令和4年9月9日 令和5年9月29日	完成年月日	令和5年9月29日
概 要	現地測量 1/500 A=0.013km ² 、路線測量 L=0.04km、機械ボーリング L=70m、標準貫入試験 N=19回、地すべり調査 パイプ歪計・水位計 N=3孔、地すべり調査 地表伸縮計 N=3基、地すべり調査 移動杭 N=18本、対策工設計 N=1箇所		

◆受注者の声

業務の特徴： 当業務は、R4.8.9～8.13の断続的な豪雨により発生した地すべりの地質調査および対策工設計を実施したものである。被災箇所は国道105号のヘアピンカーブ部に接する自然斜面で、幅約35m、長さ約70m、滑落崖の高さ約5mの規模で地すべりが発生し県道が約25mにわたり崩壊土砂で埋没、通行不可となった。被災路線は仙北市～北秋田市を結ぶ観光や物流に不可欠な路線である一方、幅員が狭小となったり道路線形不良となる区間がある路線である。発生時期が「大曲の花火」に近かったこともあり、安全を確保しつつ早期に通行止めを解除する必要があった（課題①）。さらに、地すべり発生直後に現地状況を確認した結果、特徴的な地形・地質条件であり、地すべりの発生運動機構を適切に評価し得る調査・観測計画を速やかに立案する必要があった（課題②）。

技術的に特に気を付けた点・工夫した点：

課題①への対応として、UAV-Ls測量で取得した三次元地形モデルを基に、残存する地すべり土塊の土砂移動シミュレーションを行い、う回路への土砂到達可能性について検討・報告した。課題②に対しては、地質踏査から崩積土は凝灰岩主体で著しく泥ねい化していた。また背後地は集水地形や広域の地すべり地形を呈しており、万が一被災範囲が拡大した場合にも対応できるよう、過不足のない調査計画を立案した。



◆発注公所の所見

本箇所は緊急輸送道路でもある国道105号で発生した大規模な地すべり災害であり、再度災害の恐れがありながらも、物流・観光面から早急な交通確保が強く求められた。そのなかで精度の高い提案がなされ、わずか1週間でう回路が完成した。また、国有林であること、査定直前にも豪雨被害が加わるなど多くの難題のなかで、率先して関係者調整を行うなど、重厚な経験に裏打ちされた技術のみならず行動に多く助けられ、現在本体復旧に当たっている。

◆業務概要

委 託 名	抜沢地区 緊急予防治山業務委託 RD1102B311		
地 区 名	抜沢地区		
商号又は名称	一般社団法人秋田県林業コンサルタント		
請 負 額	6,728,700 円	種 別	詳細設計
代 表 者	理事長 高松 武彦		
管理技術者	阿部 実		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任調査員	武石 直久	調 査 員	村上 雅美
工 期	令和5年3月27日 令和5年7月31日	完成年月日	令和5年7月31日
概 要	山腹工 A=0.27ha 測量・設計・計画作成等業務 N=1式		

◆受注者の声

【業務の特徴】 本業務の対象箇所は、男鹿市にある浜塩谷集落の人家背後に位置する西向きの斜面である。昭和58年～59年にかけてコンクリート土留工、のり切工、水路工といった山腹工が整備されその機能を発揮してきた。しかしながら、当該斜面の背後にある二ノ目淵から岩盤内を通じて供給される地下水によって湧水が発生しており、さらに近年の集中豪雨の増加等による影響を受け、斜面内に倒木を含めて多くの小崩壊が発生していた。このような状況をふまえ、災害発生の予防的対策にかかる詳細設計を実施した。 【業務実施上の留意点・工夫点】 ①現地での測量作業にあたって 当該斜面は急峻かつヤダケ等が繁茂しており、通常のトータルステーションでの測量に非常に労力を要する現場であった。そのためドローンレーザによる測量と併用することにより、ヤダケ等の伐開を必要最小限にするよう工夫した。また、ドローンレーザによって微地形を把握することができ、調査地に多数ある小崩壊の位置や拡大メカニズムの把握にも役立った。 ②対策工の立案にあたって 把握した小崩壊の拡大メカニズムおよび斜面内の特徴に留意し、以下の対策を計画した。 ●階段状の不安定土塊 のり切、整形を実施 ●湧水が多く小崩壊の多い斜面下部～中部 面排水材を設置したうえで、簡易法枠工を実施し侵食防止、小崩壊の防止を図った。 ●斜面の中部～上部 湧水はほとんど認められないが、雨水による表面侵食により、植生が安定して生育できず裸地化している。そのため、水路工を縦・横の組合せで配置することにより、地表水を適正に流下させそのうえで簡易法枠工を実施し、侵食防止、小崩壊の防止を図った。
--

◆発注公所の所見

本業務は、令和4年5月に立木の根返り、周辺斜面での多量の湧水が確認され、斜面に多くの小崩壊や倒木が発生していることから、今後の不安定土砂の流出防止と崩壊地の復旧対策を設計するものである。当該地区は、長年の豪雨と多量の湧水に起因した地質が脆弱な山腹での崩壊であるため、対策工の立案に高い技術力を要する業務であった。 提出された業務成果品の内容は優れており、特に伐開が困難な斜面の地形測量及び小崩壊の位置や拡大メカニズムの把握にUAV測量を活用した点とコスト縮減に配慮した復旧対策の作成が評価される。
--

◆業務概要

委 託 名	湯沢南部地区 機能診断・保全計画策定業務委託 11201-Y01		
地 区 名	湯沢南部地区		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請 負 額	10,682,100 円	種 別	詳細設計
代 表 者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	伊藤 和樹		
発注公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任調査員	田口 有志	調 査 員	伊藤 光輝
工 期	令和5年7月7日 令和6年2月22日	完成年月日	令和6年2月22日
概 要	機能保全計画策定 N=2箇所、機能診断調査 N=2箇所		

◆受注者の声

【業務の概要】

本業務は、湯沢南部第一揚水機場、第二揚水機場の機能診断調査と機能保全対策の立案を目的として実施したものである。対象施設は、ポンプ設備、ゲート設備、機場建屋、取水樋管、吐出水槽など多工種にわたる他、多くの施設が整備後44年経過してるなど、施設老朽化による不具合が年々増加している状況であった。

【業務実施上の留意点・工夫点】

- ①地域の営農活動を維持していくためには、安定的な用水供給が必要不可欠であり、各施設のどれか一つでも使用不可となれば、営農活動に支障をきたすため、調査漏れがないように留意する必要があった。業務初期段階に、発注者および地元土地改良区と合同協議を行い、全ての対象施設を再精査した結果、新たに追加で調査が必要な施設を提案し調査を実施した。
- ②対象施設が多工種であったため、農業土木、河川、鋼構造等の専門技術者を交えたチームを社内に設置し、各段階で照査・レビューを実施することで、品質向上を図った。
- ③現地調査時は維持管理者も同行の上調査を行うことで、日頃の不具合箇所、気になる点などを確認するなど、きめ細やかな対応をした。
- ④土木構造物の機能診断調査時は、従来の手法でコンクリート強度の調査が困難な箇所について、新技術であるコンクリートテスターによる調査を提案し強度試験を実施した。



南部第一揚水機場


コンクリートテスター
(NETIS : HK-060013-V)


合同現地踏査状況

◆発注公所の所見

本業務の対象施設は「ポンプ設備」、「土木構造物」、「揚水機場建屋」及び「付帯施設」など、非常に多工種にわたるものであった。このため、施設管理者にも打合せへの同席や現場への同行を依頼し、日常の不具合や気に掛かる点なども漏れなく聞き取るなど細心の注意が払われた。さらに、社内で各分野の専門チームを結成し、業務の各段階において照査・レビューを実施するなど、その真摯な取り組みや丁寧な成果品のとりまとめが大いに評価されるものである。

◆業務概要

委 託 名	災害査定調査事業 河川災測量設計業務委託 05-8003-Y3		
地 区 名	埴川		
商号又は名称	株式会社測地コンサルタント		
請 負 額	42,845,000 円	種 別	詳細設計
代 表 者	代表取締役 高橋 敦		
管理技術者	小玉 俊介		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐藤 政博	調 査 員	菅原 慈
工 期	令和5年8月2日 令和6年3月25日	完成年月日	令和6年3月25日
概 要	基準点測量 N=33点、現地測量 A=0.051km ² 路線測量 L=1.50km、護岸詳細設計 L=1,314m 災害査定資料作成 N=1式		

◆受注者の声

【業務概要】

本業務は、令和5年7月14～17日にかけて発生した豪雨〔24時間雨量：180.5mm（能代）〕によって被災した「二級河川 埴川」について、災害査定のための測量及び護岸詳細設計を実施したものである。被災箇所は全13箇所、被災延長は延べ1300m余りである。主な被災原因は、越水によるものであり、被災箇所の多くで破堤が生じ、圃場内に多量の土砂が流出した。

【業務遂行上の課題】

業務ボリュームが多くタイトなスケジュールのもと、短期間で災害査定に必要な資料を作成する必要があり、いかに工期内に品質が確保された成果品を納品できるかが課題であった。

【課題に対する対応】

工程管理においては、各業務（測量・設計）毎にプロジェクトチームを立ち上げ、連携を密にして効率的な作業スケジュールの立案・調整を図った。また、発注者と合同で現地踏査を実施して復旧計画における留意事項などを共有するとともに、綿密な打合せと連絡を行った。作業効率の向上には、ICT技術（UAV）を用いた被災写真撮影を導入し、省人化と安全性の向上を実現した。業務成果としては、被災箇所毎に設計根拠及び申し送り事項等を概要書（A3版）へ簡潔に取りまとめ、設計思想が施工者に正確に伝わるよう丁寧な記述とした。これらの取り組みにより、工期内に品質を確保した成果品を納品した。



工程調整会議



合同現地踏査



UAV撮影による被災写真

◆発注公所の所見

本業務は、令和5年7月14～17日の豪雨により被災した河川管理施設について、災害査定までの短期間で査定申請に必要な資料を作成するための測量・設計業務である。

被災規模が大きく従前の河道法線を確認することが難しい箇所が多数ある中、UAVを活用して現地状況の把握を行い、既存情報を活用することにより迅速に復旧計画が立案された。

また、空中写真を用いることにより受発注者間でイメージ共有を図ることができ、手戻り等無く業務を遂行することができた。

◆業務概要

委 託 名	「未来につなぐ」OMON」世界遺産魅力アップ事業 道路予備設計業務委託 05-BH10-Y1		
地 区 名	(主) 十二所花輪大湯線		
商号又は名称	セントラルコンサルタント株式会社 東北支社 秋田営業所		
請 負 額	13,043,800 円	種 別	予備設計
代 表 者	所長 佐藤 大起		
管理技術者	小川 直裕		
発注公所	鹿角地域振興局 (建設部)		
主任調査員	佐藤 勝	調 査 員	出雲 智也
工 期	令和5年8月10日 令和6年3月22日	完成年月日	令和6年3月22日
概 要	道路予備設計 (A) L = 2. 8 1 k m 平面交差点予備設計 N = 1 箇所		

◆受注者の声

1. 業務の特徴

本業務は世界遺産である大湯環状列石への影響を回避するためにバイパス整備を行う(主)十二所花輪大湯線について、道路予備設計を行い最適ルートを選定を行ったものである。

2. 工夫点

①比較検討

ルート比較検討においては平面ルート比較だけではなく、事業費低減のために切土を抑制する案の検討や河川交差部の構造形式について橋梁やアーチカルバート等の比較を行い、土配バランスや施工性、構造的性、環境影響、維持管理性等様々な観点から比較を行い、最適案を選定した。

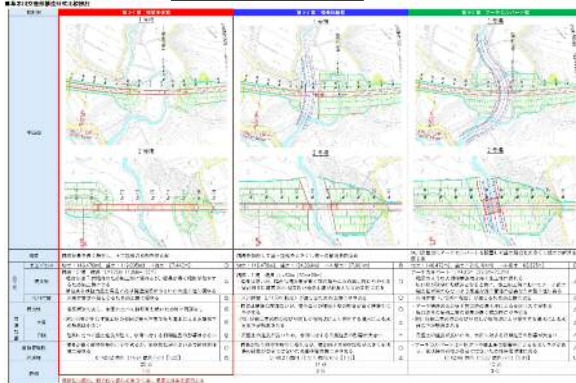
②細部検討

バイパス構築に伴い、土地の分断が生じて土地へのアクセスが困難と想定される箇所があったため、公図を基に分断箇所の有無を確認し乗入口の検討を行った。また、地質調査で得られた地盤情報を基に切土法面勾配や舗装についても検討を行い、道路予備設計成果の品質向上を図った。

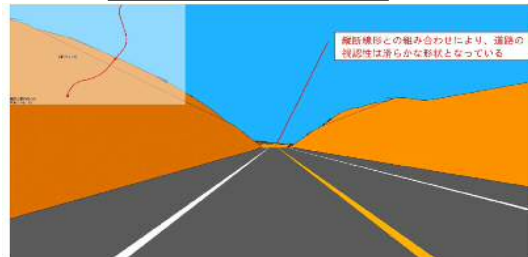
③3Dモデルの活用

本命案の線形の妥当性検証として、3D走行シミュレーション動画を作成して、走行性や視認性の観点で選定案の道路構造の妥当性確認を行った。

構造形式比較検討表



3D走行シミュレーション画像



◆発注公所の所見

本業務は一般的な道路予備設計と異なり、世界遺産登録となった大湯環状列石の迂回ルートを計画する業務である。業務の実施にあたってはルート検討のほか、事業費低減のため土工バランスの検討、河川交差部においては橋梁のほかアーチカルバートとの比較検討も実施し最適ルート案を選定した。選定された最適案を基に3Dシミュレーション動画を作成し交差市道や縦断勾配、曲線部の視認性など、第3者が容易に本路線をイメージ出来る資料を作成するなど業務に対する姿勢が高く評価できる。

◆業務概要

委 託 名	河川概略検討業務委託 04-K241-Y3		
地 区 名	二級河川 富津内川 ほか		
商号又は名称	株式会社建設環境研究所 東北支社		
請 負 額	18,537,200 円	種 別	概略設計
代 表 者	支社長 綿貫 建		
管理技術者	松本 敬之		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	加藤 忍	調 査 員	沼田 拓務
工 期	令和4年11月11日 令和5年7月31日	完成年月日	令和5年7月31日
概 要	河川概略検討 富津内川 N=1式 内川川 N=1式 数値図化（レベル1000） A=1.00km ²		

◆受注者の声

1. 業務の特徴

本業務は、令和4年8月12～13日の豪雨により浸水被害が発生した馬場目川水系富津内川及び内川川について、現況流下能力の算定及び被災流量の解析等を行い、特に家屋の浸水被害が大きかった箇所を対象に治水対策を検討したものである。

本検討では再度災害防止を目的とした河道改修案、遊水地案、捷水路案（ショートカット河道案）、輪中堤案の治水効果を検討し、概略一般図を作成の上、概算事業費の算出を行い、これら対策案を比較検討した。また、検討に用いる地形測量として数値図化レベル1000の作成も行った。

2. 業務実施上の留意点・工夫点

- ①現地状況の把握にUAVを活用した。さらに、UAVによる空中写真を用いた分かりやすい整備イメージとして、施設のフォトモンタージュを作成し、受発注者間でのイメージ共有を図った。
- ②流出計算モデル（貯留関数法）を作成し、洪水痕跡より被災流量を逆算推定するとともに、実績降雨の確率規模を推定し、再度災害防止を目的とした目標流量を設定した。
- ③国土交通省が進める「流域治水」プロジェクトのハード・ソフト対策メニューを検討し、当該河川及び地区に適用可能な対策方法を検討した。



UAV空中写真を用いて捷水路案のフォトモンタージュを作成



輪中堤案の完成フォトモンタージュ

◆発注公所の所見

本業務は、令和4年8月豪雨により浸水被害が発生した富津内川及び内川川流域を対象とした、概略治水対策検討を行う業務である。設計業務対象箇所は、家屋連担地であることから、早期の河川改修計画の策定が必要であり、タイトなスケジュールの中で行う業務であったが、迅速かつ適切に業務を完了させた。また、業務打合せ時及び納品時には丁寧な説明が行われ、フォトモンタージュを用いた分かりやすい対策工法の提案があり、十分な技術力が発揮された。

◆業務概要

委 託 名	砂防関係施設点検業務委託 04-LD06-Y2		
地 区 名	先達川 他		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請 負 額	12,585,100 円	種 別	単純調査等業務
代 表 者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	佐藤 俊之		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任調査員	佐々木 格	調 査 員	金沢 航汰
工 期	令和5年6月5日 令和6年1月9日	完成年月日	令和6年1月9日
概 要	砂防関係施設点検 N=39基		

◆受注者の声

■業務の目的

秋田県砂防関係施設長寿命化計画に基づき、点検対象区域毎の健全度に応じた頻度により点検を実施し、施設の劣化状況を把握するとともに施設の健全度評価を行うことにより、劣化予測に基づく長寿命化計画の見直しに向けた基礎資料を作成することを目的とする。

■創意工夫

①遠隔臨場の実施

砂防施設の損傷状況について発注者と**判定基準の共有**を図るため遠隔臨場を実施した。遠隔臨場を導入することで移動のコストと時間を削減し、業務の生産性向上・円滑化を図った。

②UAVによる空撮

UAVの活用は、点検の効率化・高度化、事故リスク軽減が期待されている。本業務において、試行的に全箇所UAVによる空撮を行い砂防堰堤の視認性を整理して、**UAV活用の有効性と課題を明確にした**。

③360° カメラの活用

情報共有及び現地調査の効率化を目的とし、360° カメラを試行的に活用した。



▲ ①遠隔臨場の実施



▲ ②UAVによる空撮



▲ ③360° カメラの活用

◆発注公所の所見

本点検業務は、砂防堰堤を点検対象とし山間部での屋外作業に大きく時間を要するものであった。高い機動力をもって発注者が求める工程以上に進捗が図られた。

また、損傷状況の点検結果や打合せ資料がわかりやすくまとめられており、損傷状況の判定の共有が迅速にできた。本点検業務による損傷状況を元に、現在砂防堰堤の補修・補強設計を進めている。

◆業務概要

委 託 名	港湾施設用地有効活用推進事業 土地利用調査業務委託 05-PK10-Y1		
地 区 名	秋田港 向浜地区 ほか		
商号又は名称	株式会社ウヌマ地域総研		
請 負 額	11,660,000 円	種 別	用地調査等業務
代 表 者	代表取締役 鶴沼 順之		
管理技術者	川上 真		
発注公所	秋田港湾事務所		
主任調査員	浪岡 幸宏	調 査 員	岩谷 信介
工 期	令和5年7月7日 令和6年3月22日	完成年月日	令和6年3月22日
概 要	土地利用調査 N = 1 式		

◆受注者の声

■【業務の目的・特徴】

本業務は、秋田港における鉄道施設撤去に伴い、港湾施設用地の有効活用を図るため、旧鉄道敷地の土地利用の現状 及び 沿線企業からの旧鉄道敷地活用の要望等を調査し、これらの調査結果を踏まえた上で港湾施設用地の用途を廃止する範囲の検討をおこない、用途廃止（売却）可能と判断した土地について、分筆案の作成を実施したものである。その中で、同時発注の用地測量業務委託（Y2～Y6工区）において作成した公図等転写連続図を基に、用途廃止範囲の検討に必要な各種資料を作成する必要があるため、適切な時期に必要な成果が揃う様、各工区の用地測量業者の協力をいただきながら、統一事項や作業工程等を策定するなど、関係する全社のマネジメントを行い、事業全体の取りまとめを実施した。

■【業務において工夫した点】

- ①同時発注の用地測量業務（Y2～Y6工区）の合同初回打合せに参加し、本業務と用地測量業務との作業相関および事業全体の作業工程（今後の予定含む）について説明をおこない、事業全体における共通認識を発注者・各受注者間で共有した。
- ②発注者・各受注者間で今後の作業が円滑に進捗する様、各工区の連絡先一覧表と、工区境（隣接業者情報）を表示した位置図を作成し、共有した。
- ③業務の中で、土地所有者名等の個人情報や行政情報等を含むデータのやり取りが想定されたため、情報共有システム（ASP）を導入し、弊社業務だけでなく、用地測量業者を含めた事業単位グループでの使用を提案し、リアルタイムでの情報共有、情報管理、生産性向上、事業全体の円滑化を推進した。
- ④関係機関（市、国）とも協議を重ね、事業概要の説明、港湾施設用地内の占用・開発行為の予定等について確認を実施。



◆発注公所の所見

本業務は、港湾施設用地（旧秋田臨海鉄道南線敷地）の有効活用を図るため現況図の作成や地下埋設物・地上占用物件の確認、隣接する地権者の土地利用の意向等を調査するものである。業務の実施にあたっては、別途発注の用地測量業務（Y2～Y6工区）と相関があることから関係事業者及び発注者と事前に合同打合せを行い作業工程等について全体で共有し業務の円滑な遂行に寄与した。また、土地利用調査の取りまとめ、各成果品の品質についても高く評価できる。

秋田県優良業務表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副知事	神部秀行
選考委員	総務部長	谷剛史
〃	農林水産部長	齋藤正和
〃	建設部長	川辺透
〃	出納局長	今川聡

秋田県優良業務表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部建設産業振興統括監	小野潔
幹事	農林水産部参事(兼)農地整備課長	足立徹
〃	森林環境保全課長	小野圭
〃	建設政策課長	和田聡
〃	技術管理課長	古山司

秋田県優良業務表彰要綱

（表彰の目的）

第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより、調査及び設計を行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。

（表彰の対象）

第2条 対象は、表彰実施年度の前年度に完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評価に基づき評価されたものとする。

（表彰の名称）

第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。

（表彰の基準）

第4条 次のすべてを満足すること。

- （1）当該業務の成績評価が優秀であること。
- （2）当該業務において事故等による減点がないこと。
- （3）当該企業における各業務の成績が良好であること。
- （4）当該企業において各業務の成果品について追完又は損害賠償が実施されてないこと。
- （5）当該企業において労働災害がないこと。
- （6）他の模範となるものと認められる業務であること。

（選考委員会）

第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする。

- 2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告に基づいて協議し、表彰すべき業務を決定するものとする。
- 3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。
- 4 幹事会は、事務局が作成した優良業務表彰候補者名簿に基づいて、部門別に当該業務の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

（表彰）

第6条 被表彰者は、受託企業の代表者（共同企業体の場合にあつては、構成員のそれぞれの代表者）及びその業務を担当した管理技術者とする。

（事務局）

第7条 事務局は、技術管理課に置く。

（補足）

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

平成28年6月1日一部改訂
平成29年3月9日一部改正
平成30年3月16日一部改正
令和元年5月20日一部改正
令和5年3月27日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P54の名簿参照のこと

